



令和3年度

川崎市岡本太郎美術館年報

ANNUAL REPORT 2021.4-2022.3

目次

I. 事業報告	1
1. 企画展	
「挑む 岡本太郎」展	1
「太郎写真曼陀羅—ホンマタカシが選んだ!! 岡本太郎の眼」展	8
「戦後デザイン運動の原点 デザインコミッティーの人々とその軌跡」展	16
「第 25 回 岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞)」展	28
2. 常設展	
「岡本太郎と食」展	31
「太郎さんの心の中を楽しもう！」展	36
「ベラボーな岡本太郎」展	41
「岡本太郎と夜—透明な渾沌」展	47
3. 収集・保存・貸出	52
収集作品及び資料 (購入)	
作品修復 / 《母の塔》調査・洗浄	
貸出作品及び資料	
4. 情報・刊行物	55
刊行物	
5. 教育・普及事業	56
イベント・ワークショップ	
どこでも TARO アトリエ	
団体利用実績	
教育プログラム	
館外普及活動	
教材開発と利用	
美術館教育研究会	
協カイベント	
6. 指定管理者による自主事業	70
7. 川崎市文化芸術振興会議施設部会	74

II. 資料	76
1. 入館者数統計	76
令和3年度 月別入館者数	
年度別入館者数	
2. 美術館事業 予算・決算概要	78
予算概要	
決算概要	
III. 組織名簿	82
1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会 委員名簿	
2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿	
IV. 川崎市岡本太郎美術館概要	83
1. 美術館の目的	
2. 美術館事業内容	
3. 美術館沿革	
4. 施設・設備概要	
V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則	87
1. 条例	
2. 条例施行規則	

I. 事業報告

1. 企画展

「挑む 岡本太郎」展

会 期	2021年4月24日(土)～7月4日(日)
開催日数	61日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
観 覧 料	一般900(720)円、高・大学生・65歳以上 700(560)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	21,117名
1日平均	346名(小数点以下、四捨五入)
図 録	B5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	149点
担 当 者	片岡香、富永ももこ



図録



チラシ



展示風景

■開催趣旨■

戦後、旧態依然とした日本の画壇や社会に対峙し、自らの力で新しい芸術の創造に挑んだ岡本太郎。画家として出発した岡本は、絵画という狭い枠組みを超えて壁画や彫刻、家具や日用品に至るまで様々なジャンルに挑戦し数多くの作品を制作するとともに、巨大なモニュメント制作にも挑み、《太陽の塔》を代表作とするパブリックアートを日本各地に設置しました。

岡本太郎はまた、雑誌や著作、テレビやラジオなど、様々なメディアを通じて幅広い分野にわたり旺盛な言論活動を行ったことでも知られています。岡本の発する力強いメッセージは、美術界にとどまらず、多くの人々に影響を与えました。岡本の強靱な思想は、少年期に岡本一平、かの子という芸術一家のなかで育ち、両親と対等に議論を交わすことで培われ、青年期のバリで時代の先端をゆく芸術家や思想家たちと交流し、ともに活動するなかで身につけたものです。

生涯をかけて時代に挑み、ジャンルを超えて多彩な作品を生み出し、メッセージを発信し続けた岡本太郎。本展では、挑み続けた岡本太郎の足跡を、多彩な作品と岡本の言葉とともに紹介しました。

岡本太郎の作品や言葉の数々は、現在のコロナ禍で閉塞した社会を生きる私たちをも勇気づけ、時代を乗り越えて生きる力を与えてくれるでしょう。本展によって、これからの時代を私たちはどのように生きていくべきか考えるきっかけとしたいと思います。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

- 新美術新聞「挑み続けた岡本太郎の足跡」5月1日 11日合併号
- 東京新聞「岡本太郎『挑む』人生」2021年5月10日
- 読売新聞夕刊「抽象画越し独自の表現」2021年5月17日
- 朝日新聞「岡本太郎 創造に挑んだ姿たどる」2021年5月28日
- 産経新聞「時代超え心を打つ力強いメッセージ」2021年5月31日
- NHK「日曜美術館アートシーン／展覧会情報」2021年6月20日放送

■関連事業■

・太郎とあなたでダンスする

展示作品に自分加わるとしたら？

岡本太郎の世界観を身体で広げることに挑む、ちょっと変わったダンスワークショップ。絵画や彫刻に全身で向き合っ、作品達により一層の躍動感を与え楽しみました。

ワークショップの映像を美術館HPで公開しました。

日 時 2021年6月26日(土) 14:00～16:00
場 所 企画展示室
出 演 講師：ホナガヨウコ（ダンスパフォーマー/振付家）、
ゲスト：金田幸三（写真家）
料 金 無料
参加人数 12名



・生命の挑み

ATSUSHI が岡本太郎の作品に挑みました。

日 時 2021年7月4日(日) 15:00～16:00
場 所 企画展示室、母の塔前広場
出 演 ATSUSHI（舞踊家）
特別ゲスト：坂本雅幸（和太鼓奏者）
料 金 無料
参加人数 185名



・ギャラリートーク

担当学芸員により展示解説を行った。

日 時 2021年6月 ①6日(日) ②20日(日) 各 14:00～15:00
場 所 企画展示室
料 金 無料
参加人数 ①35名 ②153名



■出品リスト■

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは岡本太郎美術館蔵）
1 プロローグ 少年太郎が挑む					
1	ある夫婦の六態・ 浮世六態	岡本一平	不明	紙、墨、絵具	
2	漱石八態	岡本一平	不明	紙、墨、絵具	
3	さくらさく	岡本かの子	不明	色紙	岡本太郎記念館蔵
4	をみなごの	岡本かの子	不明	色紙	岡本太郎記念館蔵
5	紫月荘巖	岡本かの子	不明	色紙	岡本太郎記念館蔵
6	起きいいでて窓をひらけば	岡本かの子	不明	短冊	
7	伊豆の海に白波たてば	岡本かの子	1919頃	紙、墨	
8	赤い鳥	—	1920	赤い鳥社	

9	岡本家間取図	—	不明	紙	岡本太郎記念館蔵
10	親子因縁	岡本一平画・ 岡本かの子書	不明	紙、墨、絵具	
11	へぼ胡瓜	岡本一平	1921	大日本雄辯會	
12	母の手紙	岡本太郎	1941	婦女界社	
13	生々流転	岡本かの子著・ 岡本太郎装幀	1940	改造社	
14	観音様	岡本太郎	1950頃	紙、墨、絵具	
15	かの子観音	岡本一平画・ 岡本かの子書	不明	紙、墨、絵具	
16	誇り	岡本太郎	1962	FRP	
17	敗惨の歎き	岡本太郎	1925	紙、水彩絵具	
18	母と子	岡本太郎	1955	紙、鉛筆、絵具	
19	燕尾服	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
20	ワンピース (茶サテン)	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
21	ワンピース (黒サテン)	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
22	ワンピース (黒レース)	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
23	オーバーコート	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
24	オーバーコート(茶毛皮)	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
25	ネックレス	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
26	ロケット	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
27	羽根扇(桃)	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
28	羽根扇(青)	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
29	トランク	—	—	—	岡本太郎記念館蔵
30	トランク	—	—	—	岡本太郎記念館蔵

2 青春時代 パリに挑む

31	空間	岡本太郎	1934/54	キャンバス、油彩	
32	傷ましき腕	岡本太郎	1936/49	キャンバス、油彩	
33	作家	岡本太郎	1948	キャンバス、油彩	
34	コンポジション	ハンス・アルプ	1974	紙、シルクスクリーン	
35	コンポジションD	ピエト・モンドリアン	1974	紙、シルクスクリーン	
36	リズム-色彩 No. 816	ソニア・ドローネー＝ テルク	1974	紙、シルクスクリーン	
37	青いフォルム	ゾフィー・トイバー＝ アルプ	1974	紙、シルクスクリーン	
38	均衡	ジャン・エリオン	1974	紙、シルクスクリーン	
39	コンポジション	アレクサンダー・カル ダー	1974	紙、シルクスクリーン	

40	抽象	フランティシエク・ク ブカ	1974	紙、シルクスクリーン	
41	構成	ラースロー・モホイ＝ ナジ	1974	紙、シルクスクリーン	
42	コンポジション	ジェラール・ヴェリア ミ	1974	紙、シルクスクリーン	
43	コンポジション	ヴァシリー・カンディ ンスキー	1974	紙、シルクスクリーン	
44	隠者	クルト・セリグマン	1933-34	紙、エッチング	
45	ブカニエ	クルト・セリグマン	1933-34	紙、エッチング	
46	詩集『水たまり』挿絵	クルト・セリグマン	1933-34	紙、エッチング	
47	詩集『水たまり』挿絵	クルト・セリグマン	1933-34	紙、エッチング	
3 四番目主義 戦争に挑む					
48	師団長の肖像	岡本太郎	1943	キャンバス、油彩	岡本太郎記念館蔵
49	眠る兵士	岡本太郎	1945	紙、インク	岡本太郎記念館蔵
4 戦後 日本の美術界に挑む					
50	夜	岡本太郎	1947	キャンバス、油彩	
51	森の掟	岡本太郎	1950	キャンバス、油彩	
52	重工業	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩	
53	ドラマ	岡本太郎	1958	キャンバス、油彩	
54	青空	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩	
55	駄々っ子	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩	
56	建設	岡本太郎	1956	キャンバス、油彩	
57	海辺	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩	
58	マスク	岡本太郎	1959	キャンバス、油彩	
59	春	岡本太郎	1947	紙、鉛筆	
60	群像	岡本太郎	1949	紙、鉛筆、絵具	
61	香妃の妹	岡本太郎装幀	1946	林房雄著・後藤書 房	
62	乳房	岡本太郎装幀	1947	堀口大學著・ロゴ ス社	
63	美しき南の國	岡本太郎装幀	1947	林房雄著・曙書房	
64	錯乱の論理	岡本太郎装幀	1947	花田清輝著・眞善 美社	
65	フランスに思ふ	岡本太郎装幀	1948	湯浅年子著・月曜 書房	
66	ひろぼにや	岡本太郎装幀	1949	佐竹龍夫著・改造 社	

67	おかねのはなし	岡本太郎装幀	1949	徳武敏夫著・新教育事業協会
5 日本探究 孤独な戦いに挑む				
68	アドレッサン	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
69	装える戦士	岡本太郎	1962	キャンバス、油彩
70	跳ぶ	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩
71	暴走	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩
72	縄文土器、土偶	岡本太郎	1956	—
73	縄文土器	岡本太郎	1974	—
74	岩手 鹿踊り、鬼剣舞	岡本太郎	1957	—
75	秋田 なまはげ	岡本太郎	1957	—
76	出雲 神代神楽、出雲大社	岡本太郎	1957	—
77	阿波 阿波踊り	岡本太郎	1957	—
78	沖縄 大御嶽	岡本太郎	1959	—
79	沖縄 イザイホー	岡本太郎	1966	—
80	壬生 花田植え	岡本太郎	1963	—
81	青森 恐山、川倉、おしらさま	岡本太郎	1962	—
82	和歌山 那智火祭	岡本太郎	1963	—
83	山形 出羽三山	岡本太郎	1962	—
84	渾沌	岡本太郎	1962	ブロンズ
6 大衆のなかへ 社会に挑む				
85	ノン	岡本太郎	1970	FRP
86	プロフィール	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩
87	顔VI	岡本太郎	1970	キャンバス、油彩
88	海辺の肖像	岡本太郎	1973	キャンバス、油彩
89	記念撮影	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩
90	哄笑	岡本太郎	1972	キャンバス、油彩
91	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP
92	プロムナード	岡本太郎	1969	シャギー
93	ティーテーブル・遊び	岡本太郎	1967	合板、金属
94	まどろみ	岡本太郎	1967	FRP、布、金属
95	顔の植木鉢	岡本太郎	1988	陶磁
96	むすめ	岡本太郎	1967	陶磁
97	スツール	岡本太郎	1967	アルミニウム、布
98	サイコロ椅子	岡本太郎	1957	籐
99	ほおずえ	岡本太郎	1968	FRP、布、金属
100	花びらの椅子	岡本太郎	1970	FRP

101	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
102	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
103	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス
104	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
105	手の灰皿	岡本太郎	1979	ガラス
106	夢の鳥	岡本太郎	1977	磁器
107	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
108	顔	岡本太郎	1978	—
109	ネクタイ	岡本太郎	—	—
110	スカーフ	岡本太郎	—	—
111	近鉄パuffersローズ	岡本太郎	不明	布
112	マミ会館	岡本太郎	1968	FRP
113	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁

7 エピローグ 挑み続ける人生

114	裂けた顔	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩
115	遭遇	岡本太郎	1981	キャンバス、油彩
116	よろこび	岡本太郎	1982	キャンバス、油彩
117	挑み	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩
118	黒い太陽	岡本太郎	1980	紙、リトグラフ
119	挑む	岡本太郎	1980	紙、墨、絵具
120	動物	岡本太郎	1983	FRP
121	リョウラン	岡本太郎	1989	FRP
122	眼	岡本太郎	1985	キャンバス、油彩
123	玉を抱く女	岡本太郎	1988	キャンバス、油彩
124	マスク	岡本太郎	1985	キャンバス、油彩
125	疾走する眼	岡本太郎	1992	キャンバス、油彩
126	挑み生きる岡本太郎の生涯		1998	映像 (27分)

パブリックアート ほか

127	安曇野	岡本太郎	1988	FRP
128	躍進	岡本太郎	1972	FRP
129	天に舞う	岡本太郎	1974	FRP
130	眼と眼コミュニケーション	岡本太郎	1980	FRP
131	ハンネス・シュナイダー記念碑	岡本太郎	1974	FRP
132	星、花、人	岡本太郎	1971	木、プラスチック、LED

133	駈ける	岡本太郎	1958	木、クラッシュタイル
134	花ひらく	岡本太郎	1958	木、クラッシュタイル
135	遊ぶ	岡本太郎	1958	木、クラッシュタイル
136	歓喜	岡本太郎	1977	陶磁
137	風神	岡本太郎	1978	陶磁
138	雷神	岡本太郎	1978	陶磁
139	雑草	岡本太郎	1956	陶磁
140	四ツ足	岡本太郎	1956	陶磁
141	スモーキングセット	岡本太郎	1952	陶磁
142	笑い	岡本太郎	1952	陶磁
143	午後の日	岡本太郎	1967	陶磁
144	こどもの樹	岡本太郎	1985	FRP
145	光る彫刻	岡本太郎	1967	FRP
146	未来を拓く	岡本太郎	1987	FRP
147	千手	岡本太郎	1975	アルミニウム
148	呼ぶA	岡本太郎	1990	FRP
149	呼ぶB	岡本太郎	1990	FRP

企画展

「太郎写真曼陀羅

—ホンマタカシが選んだ!! 岡本太郎の眼」展

会 期	2021年7月17日(土)～10月11日(月)
開催日数	74日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
助 成	一般財団法人地域創造
観 覧 料	一般900(720)円、高・大学生・65歳以上700(560)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	15,957名
1日平均	216名(小数点以下、四捨五入)
図 録	B5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	約170点
担 当 者	篠原優、片岡香



図録



チラシ



展示風景

■開催趣旨■

岡本太郎は雑誌連載の企画で日本各地取材のために訪問し、文章の挿図のために自ら写真を撮り続けました。そこには1954年の写真家・土門拳との対談で自身が述べた通り「偶然を偶然に捉えて必然」にした像が確かに撮影されています。一方、対象との特有の距離感とクールな色合いを持ち、被写体をその背景や文脈から切り離して写し出すことで高い評価を得てきた写真家・ホンマタカシは、自身の写真について「写真を使った世界の見方をさまざまに問いかける試み」であると語っています。

本展は、岡本が撮影した写真集『太郎写真曼陀羅』（筑摩書房、2011年）を編者の一人だったホンマタカシの視点から再構成したものです。ホンマは街中の看板や建物、旅先で出会った女性、ふいに写り込んだ人々など、取材の合間に何気なく、ついシャッターを切ってしまったように見える写真に魅力を見出しました。また、他者が撮影した像をも取り入れて作品としてきたホンマの視線は、岡本が写した写真と写された写真を区別せず、岡本がそこにいることこそが、岡本太郎の写真であると捉えました。多くの未発表作と岡本自身を合わせた写真群が、岡本の写真の新たな見方を発見する手がかりとなることを願い、開催しました。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

OBIKAKE 「岡本太郎の視線を追体験 写真ってやっぱりおもしろい！」Web サイト <https://obikake.com/column/22387/>

2021年7月30日

RareA 「岡本氏の写真160枚～新たな視点で企画展「太郎写真曼陀羅」」Web サイト <https://rarea.events/event/121248>

2021年8月19日

読売新聞 「岡本太郎 写真にも情熱」2021年9月15日

産経新聞 「つい何気なく撮影 そこに本当の魅力」2021年9月27日

キャノンフォトサークル 2021年10月号

■関連事業■

・ワークショップ「ささいここうちくく」

岡本太郎の写真をプリントした紙を様々な形状にカットし、
写真家・ホンマタカシと一緒に「再構築」して新しいイメージを
制作しました。

日 時 2021年8月22日(日)
①13:00~14:30 ②15:00~16:30
対 象 小学生以上
場 所 創作アトリエ
講 師 ホンマタカシ(本展監修者・写真家)
料 金 500円(要観覧料)
参加人数 17名



・対談イベント ホンマタカシ×榎木野衣

ホンマタカシ(本展監修者・写真家)と榎木野衣(美術批評家)が
出品作品を中心に岡本太郎の写真について語りました。

日 時 2021年9月12日(日) 14:00~15:30
ゲ ス ト ホンマタカシ(本展監修者・写真家)
榎木野衣(美術批評家)
場 所 ガイダンスホール
料 金 無料(要観覧料)
参加人数 34名



■出品リスト■

No.	作品名	撮影者名・作家名	撮影年月日 ・制作年	材質・形状	所蔵(記載の無いものは 岡本太郎美術館蔵)
1	東京 銀座・松島眼鏡店	撮影者不詳	1959年 11月28日?	ゼラチン・シルバー・ プリント	
2	長崎・雲仙の岡本太郎	撮影者不詳	1957年 3月8日	ゼラチン・シルバー・ プリント	
3	島根・出雲の斐川平野	撮影者不詳	1957年 5月14日	インクジェット・ブ リント	
4	不明/岩手 花巻温泉	撮影者不詳/ 岡本太郎	撮影日不明	ゼラチン・シルバー・ プリント	
5	不明/岩手 花巻温泉	撮影者不詳/ 岡本太郎	撮影日不明	ゼラチン・シルバー・ プリント	
6	三重・鈴鹿サーキット	撮影者不詳 (福田武久?)	1963年 11月5日	ゼラチン・シルバー・ プリント	
7	三重 伊勢~松阪	撮影者不詳	1958年 3月21日	ゼラチン・シルバー・ プリント	
8	京都・島原「角屋」 餅つきの夜に	撮影者不詳	1954年 12月25日	ゼラチン・シルバー・ プリント	
9	大阪	撮影者不詳	1957年 7月18-19日	インクジェット・ブ リント	
10	秋田 飯田川	撮影者不詳	1957年 2月14日	ゼラチン・シルバー・ プリント	
11	沖縄	岡本太郎	1959年 11月23日	インクジェット・ブ リント	
12	沖縄 那覇・琉球舞踊を 披露する料亭「松乃下」	岡本太郎	1959年 11月17日	ゼラチン・シルバー・ プリント	

13	沖縄・八重山の民俗芸能	岡本太郎	1959年 11月27日	ゼラチン・シルバー・ プリント
14	三重 伊勢～松阪	岡本太郎	1958年 3月21日	インクジェット・ブ プリント
15	不明・アクセサリ審査	岡本太郎	1955年 4月25日	ゼラチン・シルバー・ プリント
16	大阪・鴨居羊子デザインの 下着	岡本太郎	1957年 1月18日	ゼラチン・シルバー・ プリント
17	大阪・鴨居羊子デザインの 下着	岡本太郎	1957年 1月18日	ゼラチン・シルバー・ プリント
18	東京 青山・アトリエの庭	岡本太郎	撮影日不明	ゼラチン・シルバー・ プリント
19	青森・恐山	岡本太郎	1962年 7月21日	ゼラチン・シルバー・ プリント
20	沖縄 竹富島・ 伝統の踊りを見る人々	岡本太郎	1959年 11月29日	インクジェット・ブ プリント
21	沖縄 久高島	岡本太郎	1959年 11月24日	ゼラチン・シルバー・ プリント
22	沖縄 久高島・ 神事の際の頭飾り	岡本太郎	1959年 11月24日	ゼラチン・シルバー・ プリント
23	沖縄 首里	岡本太郎	1959年 11月21日	ゼラチン・シルバー・ プリント
24	沖縄 竹富島	岡本太郎	1959年 11月29日	ゼラチン・シルバー・ プリント
25	沖縄 石垣島	岡本太郎	1959年 11月28日	ゼラチン・シルバー・ プリント
26	沖縄・石垣島の市場	岡本太郎	1959年 11月27日	ゼラチン・シルバー・ プリント
27	沖縄 川平	岡本太郎	1959年 11月27日	ゼラチン・シルバー・ プリント
28	沖縄・糸満の市場	岡本太郎	1959年 11月22日	ゼラチン・シルバー・ プリント
29	沖縄・八重山の民俗芸能	岡本太郎	1959年 11月29日	インクジェット・ブ プリント
30	沖縄 糸満	岡本太郎	1959年 11月17日	ゼラチン・シルバー・ プリント
31	沖縄・久高島ののろ	岡本太郎	1959年 11月24日	ゼラチン・シルバー・ プリント
32	大阪・三品取引所	岡本太郎	1957年 7月19日	ゼラチン・シルバー・ プリント
33	大阪	岡本太郎	1957年 7月16日	ゼラチン・シルバー・ プリント
34	岩手 盛岡・ 宮昌太朗鉄瓶工場	岡本太郎	1957年 6月17日	ゼラチン・シルバー・ プリント
35	秋田 秋田駅	岡本太郎	1957年 2月12日	ゼラチン・シルバー・ プリント
36	秋田 秋田駅	岡本太郎	1957年 2月12日	ゼラチン・シルバー・ プリント
37	青森・恐山のイタコ	岡本太郎	1962年 7月22日	ゼラチン・シルバー・ プリント
38	沖縄 斎場御嶽	岡本太郎	1959年 11月23日	インクジェット・ブ プリント
39	沖縄 石垣島	岡本太郎	1959年 11月26日	ゼラチン・シルバー・ プリント

40	沖縄 大御嶽・ 久高島のクボー御嶽	岡本太郎	1959年 11月24日	ゼラチン・シルバー・ プリント
41	沖縄 糸満港	岡本太郎	1959年 11月22日	ゼラチン・シルバー・ プリント
42	沖縄 首里	岡本太郎	1959年 11月21日	インクジェット・プ リント
43	沖縄・金武の井戸付近	岡本太郎	1959年 11月20日	ゼラチン・シルバー・ プリント
44	沖縄・中城城	岡本太郎	1959年 11月19日	ゼラチン・シルバー・ プリント
45	沖縄・読谷の闘牛	岡本太郎	1959年 11月22日	インクジェット・プ リント
46	沖縄 大宜味村	岡本太郎	1959年 12月2日	ゼラチン・シルバー・ プリント
47	沖縄・宮古港	岡本太郎	1959年 11月30日	ゼラチン・シルバー・ プリント
48	沖縄 石垣島	岡本太郎	1959年 11月28日	ゼラチン・シルバー・ プリント
49	沖縄	岡本太郎	撮影日不明	ゼラチン・シルバー・ プリント
50	沖縄・久高島のイザイホー	岡本太郎	1966年 12月26日	ゼラチン・シルバー・ プリント
51	沖縄 糸満	岡本太郎	1959年 11月17日	ゼラチン・シルバー・ プリント
52	沖縄・壺屋	岡本太郎	1959年 11月18日	ゼラチン・シルバー・ プリント
53	沖縄・収穫や家族の 幸せを祝う弥勒	岡本太郎	撮影日不明	ゼラチン・シルバー・ プリント
54	沖縄・中城の中村家	岡本太郎	1959年 11月19日	ゼラチン・シルバー・ プリント
55	沖縄・首里の石畳	岡本太郎	1959年 11月21日	ゼラチン・シルバー・ プリント
56	沖縄 石垣島	岡本太郎	1959年 11月28日	ゼラチン・シルバー・ プリント
57	沖縄・金武の井戸	岡本太郎	1959年 11月20日	ゼラチン・シルバー・ プリント
58	長崎 諫早・教会の鐘	岡本太郎	1957年 3月8日	ゼラチン・シルバー・ プリント
59	長崎・雲仙の平野敏子	岡本太郎	1957年 3月8日	ゼラチン・シルバー・ プリント
60	長崎 山手	岡本太郎	1957年 3月7日	ゼラチン・シルバー・ プリント
61	島根・出雲大社本殿	岡本太郎	1957年 5月14日	ゼラチン・シルバー・ プリント
62	高知 五台山 竹林寺付近	岡本太郎	1957年 8月13日	ゼラチン・シルバー・ プリント
63	徳島・阿波踊り	岡本太郎	1957年 8月9日	ゼラチン・シルバー・ プリント
64	徳島・阿波踊り	岡本太郎	1957年 8月8日	ゼラチン・シルバー・ プリント
65	高知・土佐和紙を漉く	岡本太郎	1957年 8月12日	ゼラチン・シルバー・ プリント
66	徳島 徳島小学校・ 阿波浄瑠璃大会	岡本太郎	1957年 8月10日	ゼラチン・シルバー・ プリント

67	京都・桐蔭席茶会	岡本太郎	1957年 4月18日	ゼラチン・シルバー・ プリント
68	京都・堀川の友禅職人	岡本太郎	1957年 4月16日	ゼラチン・シルバー・ プリント
69	山形・羽黒山の松例祭	岡本太郎	1962年 12月31日	ゼラチン・シルバー・ プリント
70	秋田 八郎潟	岡本太郎	1957年 2月13日	ゼラチン・シルバー・ プリント
71	秋田 秋田駅	撮影者不詳	1957年 2月12日	ゼラチン・シルバー・ プリント
72	秋田 八郎潟	岡本太郎	1957年 2月13日	ゼラチン・シルバー・ プリント
73	秋田 男鹿・芦沢のなまはげ	岡本太郎	1957年 2月12日	ゼラチン・シルバー・ プリント
74	秋田・横手のかまくら	岡本太郎	1957年 2月14日	ゼラチン・シルバー・ プリント
75	秋田 男鹿・芦沢のなまはげ	岡本太郎	1957年 2月12日	ゼラチン・シルバー・ プリント
76	秋田 飯田川・太平山酒造	岡本太郎	1957年 2月14日	ゼラチン・シルバー・ プリント
77	秋田 八郎潟	岡本太郎	1957年 2月13日	ゼラチン・シルバー・ プリント
78	青森 八戸・オシラさま	岡本太郎	1962年 7月26日	ゼラチン・シルバー・ プリント
79	青森 下古川・ 虫送りの「むし」	岡本太郎	1962年 7月23日	ゼラチン・シルバー・ プリント
80	青森 八戸・オシラさま	岡本太郎	1962年 7月26日	ゼラチン・シルバー・ プリント
81	青森 八戸・オシラさま	岡本太郎	1962年 7月26日	ゼラチン・シルバー・ プリント
82	青森 恐山	岡本太郎	1962年 7月22日	ゼラチン・シルバー・ プリント
83	青森 恐山	岡本太郎	1962年 7月21日	ゼラチン・シルバー・ プリント
84	長野 井戸尻考古館・土偶	岡本太郎	1974年 7月26日	ゼラチン・シルバー・ プリント
85	沖縄・竹富島でかつて 使われていた絵文字	岡本太郎	1959年 11月29日	ゼラチン・シルバー・ プリント
86	福岡 太宰府 筑紫観世音寺・伎楽面	岡本太郎	1957年 3月5日	ゼラチン・シルバー・ プリント
87	長崎・興福寺の魚板	岡本太郎	1957年 3月6日	ゼラチン・シルバー・ プリント
88	長崎 崇福寺本堂・ 十八羅漢	岡本太郎	1957年 3月7日	ゼラチン・シルバー・ プリント
89	高知・魚を突くヤス	岡本太郎	1957年 8月13日	ゼラチン・シルバー・ プリント
90	和歌山 伊都郡 高野山	岡本太郎	1955年 8月8日	ゼラチン・シルバー・ プリント
91	東京 東京国立博物館・ 土偶	岡本太郎	1956年 2月23日	ゼラチン・シルバー・ プリント
92	大阪・さかえずし	岡本太郎	1957年 7月16日	ゼラチン・シルバー・ プリント
93	東京 東京国立博物館・ 土偶	岡本太郎	1956年 2月23日	ゼラチン・シルバー・ プリント

94	東京・世田谷 九品仏	岡本太郎	1957年 9月30日	ゼラチン・シルバー・ プリント
95	東京 東京国立博物館・土偶 (神奈川県横浜市出土)	岡本太郎	1956年 2月23日	インクジェット・ブ プリント
96	岩手 花巻温泉・ 鹿踊りの面	岡本太郎	1957年 6月16日	ゼラチン・シルバー・ プリント
97	青森 八戸・オシラさま	岡本太郎	1962年 7月26日	ゼラチン・シルバー・ プリント
98	青森 三沢・藁人形	岡本太郎	1962年 7月25日	ゼラチン・シルバー・ プリント
99	沖縄・糸満の市場	岡本太郎	1959年 11月22日	ゼラチン・シルバー・ プリント
100	沖縄 八重山	岡本太郎	1959年 11月26日	ゼラチン・シルバー・ プリント
101	沖縄・琉球紅型研究会	岡本太郎	1959年 11月21日	インクジェット・ブ プリント
102	沖縄 久高島・エラブ鰻	岡本太郎	1959年 11月24日	ゼラチン・シルバー・ プリント
103	沖縄 石垣島	岡本太郎	1959年 11月28日	ゼラチン・シルバー・ プリント
104	長崎 寺町・干し芋	岡本太郎	1957年 3月6日	ゼラチン・シルバー・ プリント
105	京都 大覚寺	岡本太郎	1954年 12月20日	ゼラチン・シルバー・ プリント
106	京都・ 島原「角屋」餅つきの夜に	岡本太郎	1954年 12月25日	ゼラチン・シルバー・ プリント
107	東京 青山・アトリエの庭	岡本太郎	撮影日不明	インクジェット・ブ プリント
108	大阪・道頓堀	岡本太郎	1957年 7月19日	ゼラチン・シルバー・ プリント
109	大阪 大阪市内の旅館街	岡本太郎	1957年 1月17日	ゼラチン・シルバー・ プリント
110	大阪 大阪市街	岡本太郎	1957年 1月18日	ゼラチン・シルバー・ プリント
111	沖縄・コザ	岡本太郎	1959年 11月20日	ゼラチン・シルバー・ プリント
112	沖縄・コザ	岡本太郎	1959年 11月20日	ゼラチン・シルバー・ プリント
113	大分	岡本太郎	撮影日不明	ゼラチン・シルバー・ プリント
114	長崎 長崎市街	岡本太郎	1957年 3月6日	インクジェット・ブ プリント
115	大阪 心斎橋筋	岡本太郎	1957年 1月17日	ゼラチン・シルバー・ プリント
116	大阪 心斎橋筋付近	岡本太郎	1957年 1月17日	ゼラチン・シルバー・ プリント
117	大阪 大阪市街	岡本太郎	1957年 1月18日	インクジェット・ブ プリント
118	埼玉 川越	岡本太郎	1957年 10月1日	ゼラチン・シルバー・ プリント
119	岩手 盛岡・太鼓屋	岡本太郎	1957年 6月18日	ゼラチン・シルバー・ プリント
120	沖縄 久高島・エラブ鰻	岡本太郎	1959年 11月24日	インクジェット・ブ プリント

121	沖縄 久高島・エラブ鰻	岡本太郎	1959年 11月24日	ゼラチン・シルバー・ プリント
122	沖縄 石垣島	岡本太郎	1959年 11月26日	ゼラチン・シルバー・ プリント
123	沖縄 石垣島	岡本太郎	1959年 11月27日	ゼラチン・シルバー・ プリント
124	沖縄 宮古島	岡本太郎	1959年 11月25日	ゼラチン・シルバー・ プリント
125	沖縄 那覇・琉球舞踊を 披露する料亭「松乃下」	岡本太郎	1959年 11月19日	ゼラチン・シルバー・ プリント
126	沖縄 石垣島	岡本太郎	1959年 11月26日	ゼラチン・シルバー・ プリント
127	沖縄・糸満の市場	岡本太郎	1959年 11月22日	ゼラチン・シルバー・ プリント
128	機上より(九州へ向かう途 中富士山を望む)	岡本太郎	1955年 9月25日	インクジェット・ブ プリント
129	長崎・寺町	岡本太郎	1957年 3月6日	ゼラチン・シルバー・ プリント
130	長崎・稲佐の国際墓地の上 に干されたイカ	岡本太郎	1957年 3月7日	ゼラチン・シルバー・ プリント
131	長崎 山手・ぼた山	岡本太郎	1957年 3月7日	ゼラチン・シルバー・ プリント
132	長崎・稲佐の国際墓地	岡本太郎	1957年 3月7日	ゼラチン・シルバー・ プリント
133	長崎	岡本太郎	1957年 3月6日	ゼラチン・シルバー・ プリント
134	島根・出雲の斐川平野	岡本太郎	1957年 5月14日	インクジェット・ブ プリント
135	島根・出雲の斐川平野	岡本太郎	1957年 5月14日	ゼラチン・シルバー・ プリント
136	島根 松江大橋	岡本太郎	1957年 5月16日	ゼラチン・シルバー・ プリント
137	高知・御畳瀬港で	岡本太郎	1957年 8月12-13日	ゼラチン・シルバー・ プリント
138	静岡 由比海岸	岡本太郎	1963年 11月3日	ゼラチン・シルバー・ プリント
139	静岡～三重	岡本太郎	1963年 11月4日	ゼラチン・シルバー・ プリント
140	大阪・スカイランド	岡本太郎	1957年 5月20-22日	ゼラチン・シルバー・ プリント
141	京都・平安神宮付近	岡本太郎	1957年 4月17日	ゼラチン・シルバー・ プリント
142	京都 五条坂付近	岡本太郎	1957年 4月17日	ゼラチン・シルバー・ プリント
143	京都 嵐山	岡本太郎	1957年 4月16日	インクジェット・ブ プリント
144	京都 清水寺付近	岡本太郎	1957年 4月16日	ゼラチン・シルバー・ プリント
145	福井 越前松島	岡本太郎	1955年 7月31日	ゼラチン・シルバー・ プリント
146	福井 東尋坊	岡本太郎	1955年 7月31日	ゼラチン・シルバー・ プリント
147	大阪 中之島	岡本太郎	1957年 7月16-17日	ゼラチン・シルバー・ プリント

148	大阪 中之島	岡本太郎	1957年 7月16-17日	ゼラチン・シルバー・ プリント
149	京都 京都駅前	岡本太郎	1957年 4月16日	ゼラチン・シルバー・ プリント
150	京都 京町屋の子ども	岡本太郎	1957年 4月17日	ゼラチン・シルバー・ プリント
151	静岡 由比海岸	岡本太郎	1963年 11月3日	ゼラチン・シルバー・ プリント
152	東京 深大寺・そば屋	岡本太郎	1957年 9月20日	ゼラチン・シルバー・ プリント
153	岩手 花巻温泉	岡本太郎	1957年 6月16日	ゼラチン・シルバー・ プリント
154	秋田 秋田駅	岡本太郎	1957年 2月12日	ゼラチン・シルバー・ プリント
155	青森 三沢	岡本太郎	1962年 7月25日	ゼラチン・シルバー・ プリント
156	沖縄 久高島・エラブ鰻	岡本太郎	1959年 11月24日	インクジェット・プ リント
157	若い夢	岡本太郎	1974年	FRP
158	喜び	岡本太郎	1969年	FRP
159	乙女	岡本太郎	1988年	FRP
160	河童像	岡本太郎	1981年	FRP
161	縄文人	岡本太郎	1982年	FRP
162	躍動の門	岡本太郎	1993年	FRP
163	千手	岡本太郎	1975年	アルミニウム
164	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963年	陶磁
165	太陽の塔	岡本太郎	1970年	FRP
166	動物	岡本太郎	1983年	FRP
167	犬の植木鉢	岡本太郎	1955年	陶磁
168	歎び	岡本太郎	1978年	FRP
169	夢の樹	岡本太郎	1983年	FRP
170	太陽	岡本太郎	1985年	FRP

企画展

「戦後デザイン運動の原点 デザインコミッティーの人々とその軌跡」展

会 期	2021年10月23日(土)～2022年1月16日(日)
開催日数	67日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協 賛	ライオン、DNP 大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網、 天童木工、堀内カラー、東リ
特別協力	日本デザインコミッティー
協 力	松屋、多摩美術大学アート・カイヴセンター、 国立近現代建築資料館
会場構成	フジワラテッペイアーキテクツラボ
巡 回 先	香川県立ミュージアム (2022年4月9日(土)～5月29日(日))
観 覧 料	一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(400)円、 中学生以下無料 ※カック内は20名以上の団体料金
入場者数	20,814名
1日平均	311名(小数点以下、四捨五入)
図 録	A5 変形
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	245点
担 当 者	佐藤玲子、出口智佳子



図録



チラシ



会場風景

■開催趣旨■

岡本太郎は活動の幅が広く、壁画やモニュメント、家具やプロダクトデザインなど多岐にわたるジャンルで活躍しましたが、それを可能にした理由の一つが、本展で紹介した「デザインコミッティー」での活動です。本展は、戦後黎明期に創立した「デザインコミッティー」の知られざる活動と、そこに集った人々と交流をご紹介します。

戦後まもない1950年代の東京で、「国際デザインコミッティー」(現・日本デザインコミッティー)は、デザイン運動の先駆けとして、国際交流とデザインの啓蒙を目的に設立されました。メンバーは、建築家の丹下健三や清家清、デザイナーの柳宗理、剣持勇、亀倉雄策、写真家の石元泰博、画家の岡本太郎、評論家では瀧口修造、浜口隆一など、多彩なジャンルで時代をリードする錚々たる顔ぶれが集いました。創立の直接のきっかけだったミラノ・トリエンナーレへの参加は1957年にはたしますが、活動の軸となったのは、東京銀座の百貨店・松屋の一角に設けられた「グッドデザインコーナー」の商品選定と、関連展覧会の企画でした。人々に身近な場で展開されたデザイン運動はひろく一般に人気を集め、メンバーの更新を経ながら、類例のない独自の組織として、現在も活発な活動が続けられています。

本展は、戦後デザイン普及の先駆けとなった「デザインコミッティー」の活動と、創立メンバー同士のコラボレーションに焦点を当て、その活動が戦後日本のデザイン、建築や美術をめぐる歴史のなかでどのように影響を与えたか、その足跡を辿る内容となります。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

大西若人「異質と共存 戦後モダンデザインの奥深さ」『朝日新聞』2021年12月14日夕刊

藤田一人「戦後デザイン運動の原点展 新しい生活文化の提唱と模索」『公明新聞』2021年12月25日

NHK日曜美術館 アートシーン／展覧会情報 2021年12月26日放送

平林由梨「展覧会評 戦後デザイン運動の原点 岡本太郎の関わりも」『毎日新聞』2022年1月5日夕刊

田代かおる「熱いデザイン議論を交わしたサロンの追体験 戦後デザイン運動の原点展」『コンフォルト』2022年2月号

伊藤維「群像劇をめぐる／わかりきれない動的空間」WEBメディア「建築討論-建築展評」<https://medium.com/kenchikutouron/>

■関連事業■

・対談「これからのデザイントーク」①

日本デザインコミッティーの現メンバーである色部義昭氏と本展会場構成を担当した藤原徹平氏によるトークイベント。斬新な発想、実践の紹介と、それを基点に今後のグラフィックデザインの行方を探る内容で、参加者からの質疑応答も盛り上がりました。

日 時 2021年11月27日(土) 13:30～15:30

場 所 ガイダンスホール

講 師 色部義昭／司会：藤原徹平

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 14名



・対談「これからのデザイントーク」②

日本デザインコミッティーの現メンバーである小泉誠・柴田文江の両氏と、藤原徹平氏によるトーク。お二人のお仕事から「空間の力」「家具の力」とは何かをご紹介いただき、その意味や意義について、未だコロナ禍にある現在から再考察する内容となりました。

日 時 2021年12月11日(土) 13:30～15:30

場 所 ガイダンスホール

講 師 柴田文江×小泉誠／司会：藤原徹平

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 28名



・「粘土で半立体の絵をこねこね描こう」

岡本太郎のレリーフ作品を参考に、紙粘土と水彩絵具で色粘土をつくり、オリジナルのレリーフ作品を作りました。

日 時 2021年12月12日(日) 13:30～15:00

場 所 創作アトリエ

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 14名



・学芸員によるギャラリートーク

日 時 2021年12月 ①18日(土) ②26日(日) ③1月10日(月) 各14:00~14:40
 場 所 企画展示室
 料 金 無料(要観覧料)
 参加人数 32名、40名、69名



■出品リスト■

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵(記載の無いものは岡本太郎美術館蔵)
1章 国際デザインコミッティー創立 前夜と交流					
1-1	太陽の神話	岡本太郎	1952	モザイクタイル	株式会社大和証券グループ本社
1-2	海辺	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩	
1-3	岡本太郎邸 断面詳細図(1:20)	坂倉準三建築研究所	1953-54	トレーシングペーパー、鉛筆	国立近現代建築資料館
1-4	岡本太郎邸 立面図[展開図]	坂倉準三建築研究所	1953-54	トレーシングペーパー、鉛筆	国立近現代建築資料館
1-5	岡本太郎邸 1、2階平面図および1階基礎伏図、2階床伏図 1:50	坂倉準三建築研究所	1953-54	トレーシングペーパー、鉛筆	国立近現代建築資料館
1-6	岡本太郎邸模型 スケール:1/50	横浜国立大学工学部建築都市・環境系学科建築EP 伊神空	2017	木、プラスチック	
1-7	選択・伝統・創造展カタログ	シャルロット・ペリアン、坂倉準三	1942	書籍	国立近現代建築資料館
1-8	選択・伝統・創造展 会場風景	—	1941	ゼラチン・シルバー・プリント-	国立近現代建築資料館
1-9	シンフォニー・イン・ケープ	石元泰博	1944-48	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-10	グラスとネット	石元泰博	1948	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-11	ファンタジー	石元泰博	1948	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-12	コラージュ	石元泰博	1948-50	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-13	ハンド・スカルプチャー	石元泰博	1948-50	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-14	フォトグラム	石元泰博	1948-50	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-15	多重露光	石元泰博	1948-52	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-16	ペーパーストラクチャー	石元泰博	1952	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館

1-17	シカゴ 街	石元泰博	1948-52	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-18	シカゴ 街	石元泰博	1948-52	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-19	シカゴ 雪と車	石元泰博	1948-52	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-20	シカゴ 雪と扉	石元泰博	1948-52	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-21	シカゴ 雪と扉	石元泰博	1948-52	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-22	シカゴ ミース・ファン・デル・ローエとコンラード・ヴァックスマン、イリノイ工科大学にて	石元泰博	1952 頃	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-23	シカゴ こども	石元泰博	1959-61	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-24	シカゴ 街	石元泰博	1959-61	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-25	シカゴ ハロウィン	石元泰博	1959-61	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-26	シカゴ 街	石元泰博	1959-61	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-27	シカゴ 街	石元泰博	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-28	シカゴ 街	石元泰博	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-29	六つの作品 一	石元泰博	1957	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-30	六つの作品 三	石元泰博	1957	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-31	東京 街	石元泰博	1962-70	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-32	東京 街	石元泰博	1962-70	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-33	東京 山手線・29	石元泰博	1981-91	ゼラチン・シルバー・プリント-	高知県立美術館
1-34	新制作協会第 17 回展招待状 (封筒共)	新制作協会	1953	印刷物	個人
1-35	新制作協会第 18 回展招待状	新制作協会	1954	印刷物	個人
1-36	新制作協会第 19 回展招待状	新制作協会	1955	印刷物	個人
1-37	新制作協会第 19 回展招待券	新制作協会	1955	印刷物	個人
1-38	「日本的デザイン」といかに取り組むか—討論のために問題を提起する—	池辺陽	1955 頃	謄写版	個人
1-39	「例の会・建築公開討論会」ちらし	例の会	1955	印刷物	個人
1-40	「映画による建築の研究会」参加券	—	1955	印刷物	個人
1-41	第 223 回理事会議事録(昭和 29 年 1 月 29 日)	国際文化振興会	1954	印刷物 (合本)	国際交流基金ライブラリー
1-42	第 225 回理事会議事録(昭和 29 年 4 月 26 日)	国際文化振興会	1954-55	印刷物 (合本)	国際交流基金ライブラリー
1-43	KBS 会報	KBS 会報	1951-52	印刷物	国際交流基金ライブラリー
1-44	Japan Committee on International Design	国際デザインコミッティー	1955 頃	印刷物	多摩美術大学アートアーカイヴセンター、

						日本デザインコミッティー
1-45	丹下自邸 (1953年) 模型 スケール: 1/30	丹下健三 (模型作成: 芝浦工業大学工学部 堀越英嗣研究室)	2013	木		香川県立ミュージアム
1-46	清家邸「私の家」(1954年) 模型 スケール: 1/30	清家清 (模型作成: 横浜国立大学都市科学部建築学科 石井優歩)	2021	木		
1-47	『グロピウスと日本文化』(彰国社)	グロピウス会編	1956	書籍		多摩美術大学アートアーカイブセンター
1-48	<i>The Architecture of Japan Museum of Modern Art, New York</i>	Arthur Drexler	1955	書籍		国際交流基金ライブラリー
1-49	<i>Architectural Beauty in Japan</i>	堀口捨己、神代雄一郎、浜口隆一著	1955	書籍		国際交流基金ライブラリー
1-50	ル・コルビュジエ、レジェ、ペリアン3人展 カタログ	—	1955	印刷物		国立近現代建築資料館
1-51	「ル・コルビュジエ、レジェ、ペリアン三人展を開くに当たって」	シャルロット・ペリアン (坂倉準三訳)	1955	原稿用紙、インク		個人
1-52	ル・コルビュジエ、レジェ、ペリアン3人展 会場写真	—	1955	タイプCプリント		国立近現代建築資料館
2章 国際交流とデザインの普及						
2-1	国際デザイン協会会合議事録 [1957年2月21日]	—	1957	謄写版		多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-2	国際デザイン協会会合議事録 [1957年3月6日]	—	1957	謄写版		多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-3	国際デザイン協会会合議事録 [1957年3月27日]	—	1957	謄写版		多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-4	国際デザイン協会会合議事録 [1957年5月7日]	—	1957	謄写版		多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-5	財団法人 日本国際デザイン協会 (仮称) 設立趣意書	—	1957頃	印刷物		多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-6	日本国際デザイン協会 鏡文	—	1957頃	印刷物		多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-7	第11回ミラノ・トリエンナーレ 会場風景	—	1957	ゼラチン・シルバー・プリント		国立近現代建築資料館
2-8	XI Triennale di Milano GIAPPONE (岡本太郎スクラップブック)	—	1957	印刷物、スクラップブック		
2-9	エレファントスツール	柳宗理 (コトブキ)	1954	FRP		柳工業デザイン研究会
2-10	バタフライスツール (初期型)	柳宗理 (天童木工)	1956	成形合板 (ローズウッド)、金属		柳工業デザイン研究会
2-11	バタフライスツール (現行型)	柳宗理 (天童木工)	1960	成形合板 (ローズウッド、メープル)		柳工業デザイン研究会
2-12	バタフライスツール (現行品)	柳宗理 (天童木工)	—	成形合板 (ローズウッド、メープル)		天童木工
2-13	白磁土瓶	柳宗理 (岐阜県陶磁器試場)	1956	磁器、籐 (つる)		柳工業デザイン研究会
2-14	坂倉準三建築研究所の所員宛書簡 [1957年5月30日]	坂倉準三	1957	紙、インク		個人
2-15	第12回ミラノ・トリエンナーレ 日本室 会場風景	—	1960	ゼラチン・シルバー・プリント		国立近現代建築資料館
2-16	トリエンナーレ国内展 配置計画 高島屋 8階 APR19-24	坂倉準三建築研究所	1960	トレーシングペーパー、鉛筆、色鉛筆、インク		国立近現代建築資料館

(1:100)					
2-17	配置図 (1:50)	坂倉準三建築研究所	1960	トレーシングペーパー、鉛筆、色鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-18	断面図 (1:50)	坂倉準三建築研究所	1960	トレーシングペーパー、鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-19	學童用机 (1:5)	坂倉準三建築研究所	1960	トレーシングペーパー、鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-20	輪型スツール詳細図3ヶ (1:5)	坂倉準三建築研究所	1960	トレーシングペーパー、鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-21	飾棚兼戸棚 (1:10)	坂倉準三建築研究所	1960	トレーシングペーパー、鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-22	SEZIONE DEL GIAPPONE 第12回トリエンナーレ展 平面図 (1:50)	坂倉準三建築研究所	1960	トレーシングペーパー、鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-23	肘付安楽椅子現寸図 (1:1)	坂倉準三建築研究所	1960	トレーシングペーパー、鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-24	肘無低座椅子現寸図 (1:1)	坂倉準三建築研究所	1960	トレーシングペーパー、鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-25	小椅子現寸図A (1:1)	坂倉準三建築研究所	1952	トレーシングペーパー、鉛筆、色鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-26	小椅子現寸図B (1:1)	坂倉準三建築研究所	1952	トレーシングペーパー、鉛筆、色鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-27	合板小椅子	坂倉準三建築研究所	1953	トレーシングペーパー、鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-28	小椅子 現寸図 (1:1)	坂倉準三建築研究所	1960	トレーシングペーパー、鉛筆、インク	国立近現代建築資料館
2-29	坂倉準三宛第12回ミラノ・トリエンナーレ辞令	日本貿易振興会	1960	印刷物	個人
2-30	“12e Triennale di Milano”, Palazzo dell'Arte, Milano, 1960	—	1960	印刷物	個人
2-31	小椅子	坂倉準三建築研究所 担当：長大作 (天童木工)	1960	成形合板、布張り	株式会社トホ®リタングァリー
2-32	小椅子 (現行品)	坂倉準三建築研究所 担当：長大作 (天童木工)	—	成形合板	天童木工
2-33	低座椅子	坂倉準三建築研究所 (天童木工)	1957頃	成形合板、布張り	個人
2-34	低座椅子 (復刻)	坂倉準三建築研究所 担当：長大作 (天童木工)	—	成形合板、布張り	天童木工
2-35	天童木工 パンフレット	杉浦康平 (天童木工)	1958 1963 1965	印刷物	天童木工
2-36	ヒモイス	渡辺力	1952	ナラ、ヒモ	株式会社トホ®リタングァリー
2-37	トリスツール	渡辺力	1956	籐	株式会社トホ®リタングァリー
2-38	ヒモイス 図面	渡辺力	1952	紙に複写	株式会社トホ®リタングァリー
2-39	ヒモイス 青図	渡辺力	1952	青焼き図面	株式会社トホ®リタングァリー
2-40	ヒモイス 青図	渡辺力	1952	デジタル出力	株式会社トホ®リタングァリー
2-41	トリスツール 図面	渡辺力	1956	紙に複写	株式会社トホ®リタングァリー

2-42	小椅子（現行品）	水之江忠臣（天童木工）	—	ナラ材成形合板	天童木工
2-43	スタッキングスツール	剣持勇（秋田木工）	1955	ブナ材、ビニールレザー	個人
2-44	サイコロ椅子	岡本太郎（山川ラタン）	1957	籐	
2-45	硬質陶器 N 型シリーズ ティーポット	柳宗理（松村硬質陶器）	1952 頃	硬質陶器	柳工業デザイン研究会
2-46	硬質陶器 N 型シリーズ コーヒーカップ&ソーサー	柳宗理（松村硬質陶器）	1952 頃	硬質陶器	柳工業デザイン研究会
2-47	硬質陶器 N 型シリーズ ティーカップ&ソーサー	柳宗理（松村硬質陶器）	1952 頃	硬質陶器	柳工業デザイン研究会
2-48	硬質陶器 N 型シリーズ クリーマー	柳宗理（松村硬質陶器）	1952 頃	硬質陶器	柳工業デザイン研究会
2-49	硬質陶器 N 型シリーズ シュガーポット	柳宗理（松村硬質陶器）	1952 頃	硬質陶器	柳工業デザイン研究会
2-50	硬質陶器 N 型シリーズ 水差し	柳宗理（松村硬質陶器）	1952 頃	硬質陶器	柳工業デザイン研究会
2-51	硬質陶器 N 型シリーズ キャセロール	柳宗理（松村硬質陶器）	1952 頃	硬質陶器	柳工業デザイン研究会
2-52	硬質陶器 N 型シリーズ プレート 5 種	柳宗理（松村硬質陶器）	1952 頃	硬質陶器	柳工業デザイン研究会
2-53	硬質陶器 N 型シリーズ 鉢 4 種	柳宗理（松村硬質陶器）	1952 頃	硬質陶器	柳工業デザイン研究会
2-54	ステンレスカトラリー Y60	柳宗理（日新商事）	1960	ステンレス	柳工業デザイン研究会
2-55	ステンレスカトラリー #1250	柳宗理（佐藤商事）	1974-02	ステンレス	柳工業デザイン研究会
2-56	黒柄カトラリー #2250	柳宗理（佐藤商事）	1982-90	ステンレス、積層強化木（カバ）	柳工業デザイン研究会
2-57	スピードケトル「早く沸くヤカン」	柳宗理（東京ガス）	1953	アルミニウム	柳工業デザイン研究会
2-58	ステンレスボール	柳宗理（上半商事）	1960	ステンレス	柳工業デザイン研究会
2-59	G 型しょうゆさし（現行品）	森正洋（白山陶器）	—	陶器	デザインモリコネクション株式会社
2-60	選定会記録アルバム	日本デザインコミッティー	1955-60	写真、アルバム	日本デザインコミッティー
2-61	選定会記録アルバム	日本デザインコミッティー	1950 後半-60 後半	写真、フィルム、アルバム	日本デザインコミッティー
2-62	グッドデザインコーナー（リーフレット）	松屋	1955 頃		日本デザインコミッティー
2-63	GOOD DESIGN CORNER（リーフレット）	松屋	1955 頃	印刷物	日本デザインコミッティー
2-64	グッドデザインカタログ 1960	グッドデザインコミッティー	1960	冊子	日本デザインコミッティー、国立近現代建築資料館
2-65	GOOD DESIGN 賞 1960	グッドデザインコミッティー	1960	印刷物	日本デザインコミッティー
2-66	GOOD DESIGN	白山陶器	1960	印刷物	白山陶器

3 章 サロンとしてのコミッティー

3-1	縄文土器（井戸尻考古館／長野県出土）	岡本太郎	1974 撮影	ゼラチン・シルバー・プリント	
3-2	縄文土器（東大人類学教室／富山県出土）	岡本太郎	1956 撮影	ゼラチン・シルバー・プリント	

3-3	縄文土器(東大人類学教室／山梨県出土)	岡本太郎	1956 撮影	ゼラチン・シルバー・プリント	
3-4	縄文土器 模様 (井戸尻考古館／長野県出土)	岡本太郎	1974 撮影	ゼラチン・シルバー・プリント	
3-5	縄文土器(明治大学考古学陳列館／千葉県出土)	岡本太郎	1956 撮影	ゼラチン・シルバー・プリント	
3-6	現代芸術研究所の設立の趣旨	現代芸術研究所	1954 頃	印刷物	
3-7	「第2 期現代芸術講座」ポスター	現代芸術研究所	1955	印刷物	
3-8	第一期現代芸術講座規則書	現代芸術研究所	1955	印刷物	
3-9	第二期現代芸術講座申込書	現代芸術研究所	1955	印刷物	
3-10	現代芸術の会ニュース No. 1	現代芸術研究所	1956 年 1 月	印刷物	
3-11	現代芸術ニュース No. 2	現代芸術研究所	1956 年 2 月	印刷物	
3-12	現代芸術ニュース No. 3	現代芸術研究所	1956 年 3 月	印刷物	
3-13	旧丸の内 都庁第一本庁舎模型	丹下健三計画研究室(模型制作：植野石膏模型製作所)	1952-57	石膏、ガラス、金属	東京都公文書館
3-14	建設	岡本太郎	1956	油彩、キャンバス	
3-15	赤	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス	
3-16	日の壁(原寸大レプリカ・部分)	岡本太郎	1991	油彩、キャンバス	
3-17	月の壁 レリーフ	岡本太郎	1956 (1991 年再制作)	FRP	
3-18	香川県庁舎旧本館・東館(1958 年) 模型 スケール：1/100	丹下健三計画研究室(模型制作：神谷宏治+日大川岸梅和研究室)	2013	木	香川県立ミュージアム
3-19	香川県庁舎旧本館 執務室仕切り棚	丹下健三計画研究室	1958 頃	木	香川県立ミュージアム
3-20	香川県庁舎旧本館 知事室机	剣持勇(天童木工)	1958	合板、木、ステンレス	香川県立ミュージアム
3-21	香川県庁舎旧本館 知事室脇机	剣持勇(天童木工)	1958	合板、木、ステンレス	香川県立ミュージアム
3-22	陶製椅子	丹下健三計画研究室	1958 頃	信楽焼	香川県
3-23	香川県庁舎	石元泰博	1958 頃	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
3-24	東京計画 1960	丹下健三研究室(撮影：川澄明男)	1960	デジタル出力	
3-25	『東京計画 1960 その構造改革の提案』	丹下健三研究室	1961	印刷物	国立近現代建築資料館
3-26	「ぼくらの都市計画」『総合』1957 年 6 月号雑誌	岡本太郎、丹下健三、勅使河原蒼風、安部公房、糸川英夫、石川充	1957 年 6 月号	雑誌	個人蔵
3-27	世界デザイン会議(リーフレット)	財団法人世界デザイン会議日本運営会	1960	印刷物	柳工業デザイン研究会
3-28	世界デザイン会議報 第6・7合併号	財団法人世界デザイン会議日本運営会	1960 年 5 月	印刷物	柳工業デザイン研究会
3-29	世界デザイン会議 会員証(坂倉準三)		1960	印刷物	個人蔵
3-30	講演草稿	柳宗理	1960	草稿	柳工業デザイン研究会

3-31	世界デザイン会議 議事録 (世界デザイン会議議事録 編集委員会編)	美術出版社	1961	書籍	国立近現代建築 資料館、柳工業デ ザイン研究会
3-32	世界デザイン会議 第1部 会ゼミナールレポート	日本宣伝美術会	1960	書籍	国立近現代建築 資料館
3-33	世界デザイン会議 資料メモ 一式	川添登	1950 年代後半	草稿	個人蔵
3-34	1960年世界デザイン会議日 本紹介配布資料『び』	世界デザイン会議日本運営 会事務局	1960	印刷物	多摩美術大学アート アーカイブセンター
3-35	A Souvenir of the Design Garden Party 世界デザイン 会議 '60		1960	印刷物	日本デザインコ ミッティー
3-36	大福帳 [ハーバート・バイヤ ーへの寄書き]	日本デザインコミッティー	1979	和紙、墨	多摩美術大学アート アーカイブセンター
3-37	herbert bayer: book of drawings paul theobald	Herbert Bayer	1961	書籍	多摩美術大学アート アーカイブセンター
3-38	Herbert Bayer: visual communication, architecture, painting Reinhold Publishing	Herbert Bayer	1975	書籍	多摩美術大学アート アーカイブセンター
3-39	国立屋内総合競技場 (国立 代々木競技場) 模型	丹下健三研究室 (制作: 石黒 建築模型)	1963	木	秩父宮記念スポ ーツ博物館
3-40	東京オリンピック 第1号ポ スター	亀倉雄策	1961	印刷物	秩父宮記念スポ ーツ博物館
3-41	東京オリンピック 公式第2 号ポスター	アートディレクション: 亀倉 雄策 フォトディレクション: 村越 襄 撮影: 早崎治	1962	印刷物	秩父宮記念スポ ーツ博物館
3-42	東京オリンピック 公式第3 号ポスター	アートディレクション: 亀倉 雄策 フォトディレクション: 村越 襄 撮影: 早崎治	1963	印刷物	秩父宮記念スポ ーツ博物館
3-43	東京オリンピック 公式第4 号ポスター	アートディレクション: 亀倉 雄策 撮影: 早崎治	1963	印刷物	秩父宮記念スポ ーツ博物館
3-44	東京オリンピック「デザイ ン・ガイド・シート」(財団 法人オリンピック東京大会 組織委員会)	大日本印刷株式会社	1964	印刷物	多摩美術大学アート アーカイブセンター
3-45	第18回オリンピック競技大 会公式報告書	オリンピック東京大会組織 委員会編	1964	書籍	多摩美術大学アート アーカイブセンター
3-46	東京オリンピック組織委員 会会報 (欧文)	オリンピック東京大会組織 委員会編	1964	冊子	秩父宮記念スポ ーツ博物館
3-47	第18回オリンピック競技大 会 識章バッジ	デザイン: 河野鷹思	1964	リボン、金属、七宝	秩父宮記念スポ ーツ博物館
3-48	東京オリンピックトーチホ ルダー(トーチホルダーデザ イン: 柳宗理、パッケージデ ザイン: 杉浦康平)	オリンピック東京大会組織 委員会	1964	鋳物、黒色アルマイ ト、紙	柳工業デザイン 研究会
3-49	東京オリンピック 運搬用聖 火コンテナ (柳宗理)	オリンピック東京大会組織 委員会	1964	ポリカーボネイト、 金属、ガラス、皮	柳工業デザイン 研究会
3-50	スタッキングチェア (柳宗 理)	コトブキ	1964	FRP、金属	柳工業デザイン 研究会
3-51	東京オリンピック参加記念 メダル	デザイン 表: 岡本太郎、裏: 田中一光	1964	ブロンズ	

3-52	跳ぶ	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩	
3-53	マラソン	岡本太郎	1964	キャンバス、油彩	
3-54	「国際シンボル計画」抜き刷り『グラフィックデザイン』	勝見勝	1971年6月	印刷物	多摩美術大学アートアーカイブセンター
3-55	オリンピックデザイン室系統図 [自筆メモ]	勝見勝	1963-64	紙、インク	多摩美術大学アートアーカイブセンター
3-56	東京オリンピックのための草稿	勝見勝	1963-64	紙、インク	多摩美術大学アートアーカイブセンター
3-57	1964 オリンピック東京大会 design guide book 1964. 2. 28		1964	青焼き	多摩美術大学アートアーカイブセンター
3-58	歓迎装飾の基本方針について		1964	青焼き	多摩美術大学アートアーカイブセンター
3-59	デザインを要する品目等調		1964	青焼き	多摩美術大学アートアーカイブセンター
3-60	仕様書 I		1964	青焼き	多摩美術大学アートアーカイブセンター
3-61	東京大会のデザインポリシー [複製]	勝見勝	1964	青焼き	多摩美術大学アートアーカイブセンター
3-62	聖火台のデザインに関する覚書	勝見勝	1969	紙、インク	多摩美術大学アートアーカイブセンター
3-63	デザインギャラリー 第10回「オリンピックのデザイン」会場風景		1964	ゼラチン・シルバー・プリント	多摩美術大学アートアーカイブセンター

4章 デザインギャラリーの展開

4-1	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎出品	1963	陶磁	川崎市岡本太郎美術館
4-2	イブ・コフォード・ラーセン 肘掛椅子 (エリザベスチェア)	坂倉準三出品		木、布	個人蔵
4-3	ライカ M3 エルンスト・ライツ/ドイツ	石元泰博出品			高知県立美術館
4-4	アンジェロ・マンジャロッテ イセクティコン	渡辺力出品		プラスチック	株式会社トポリタンギャラリー
4-5	コーヒー沸し (Chemex Coffeemaker)	柳宗理出品		ガラス、木、皮	柳工業デザイン研究会
4-6	レードル	柳宗理出品		陶器、木	柳工業デザイン研究会
4-7	花はさみ (Wilkinson Hand Pruner)	柳宗理出品		金属	柳工業デザイン研究会
4-8	ペリカンのインク入れ	柳宗理出品		プラスチック	柳工業デザイン研究会
4-9	ブルーノ・ムナーリ灰皿 デスクセット(オリベッティノベルティ)	瀧口修造出品			株式会社トポリタンギャラリー
4-10	第一回デザインギャラリー “私の好きなグッドデザインコレクション”出品リスト	日本デザインコミッティー	1964	青焼き	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-11	『デザイン』1964年8月号	—	1964	雑誌	個人蔵
4-12	第1回「私の好きなデザイン」DM	日本デザインコミッティー	1964	印刷物	日本デザインコミッティー
4-13	あかり (AKARI 1A)	イサム・ノグチ	1952	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-14	あかり (AKARI 6A (Round))	イサム・ノグチ	1952	和紙、竹	香川県立ミュージアム

4-15	あかり (AKARI 10A)	イサム・ノグチ	1952	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-16	あかり (AKARI 16A)	イサム・ノグチ	1953	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-17	あかり (AKARI 3X (Square))	イサム・ノグチ	1963	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-18	あかり (AKARI 31N)	イサム・ノグチ	1969	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-19	あかり (AKARI 35N)	イサム・ノグチ	1969	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-20	あかり (AKARI 45XN)	イサム・ノグチ	1978	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-21	あかり (AKARI 70XN)	イサム・ノグチ	1978	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-22	あかり (AKARI 30DD)	イサム・ノグチ	1978	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-23	あかり (AKARI 70FF)	イサム・ノグチ	1978	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-24	あかり (AKARI J1)	イサム・ノグチ	1979	和紙、竹	香川県立ミュージアム
4-25	AKARI Lamps by Isamu Noguchi	OZEKI & Co., Ltd.	1964	印刷物	日本デザインコミッティー
4-26	桂離宮 洲浜の飛石	石元泰博	1953	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-27	桂離宮 松葉型襖引手 (楽器の間)	石元泰博	1953-54	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-28	桂離宮	石元泰博	1953-54	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-29	桂離宮 新御殿と芝庭	石元泰博	1953-54	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-30	桂離宮 新御殿南西面	石元泰博	1953-54	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-31	桂離宮 御輿寄前庭 延段と飛石	石元泰博	1953-54	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-32	桂離宮 古書院一の間から中書院を見る	石元泰博	1953-54	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-33	桂離宮 新御殿御手水間	石元泰博	1953-54	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-34	桂離宮 楽器の間	石元泰博	1953-54	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-35	桂離宮 楽器の間広縁の板敷き	石元泰博	1954	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-36	桂離宮 茶室内部 (松琴亭)	石元泰博	1954	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-37	桂離宮 古書院月見台展望	石元泰博	1954	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立美術館
4-38	第24回「桂」DM はがき		1966	印刷物	日本デザインコミッティー
4-39	『桂 KATSURA —日本建築における伝統と創造—』	文：ワルター・グロピウス、丹下健三 写真：石元泰博 レイアウト・装幀：ハーバート・パイヤー (造形社)	1960	書籍	高知県立美術館
4-40	「鳥」展のための草稿	亀倉雄策	1966	紙、インク	日本デザインコミッティー
4-41	展覧会準備のためのスケッチ	亀倉雄策	1966	紙、インク、絵具	日本デザインコミッティー
4-42	きじ車 (岡本太郎旧蔵)	—	—	木	

4-43	Birds (岡本太郎旧蔵)	ヤコブ・ハーマン	—	木	
4-44	第25回「鳥」DMはがき	—	1966	印刷物	日本デザインコミッティー
4-45	第52回「歩道橋計画案展」DMはがき	—	1968	印刷物	日本デザインコミッティー
4-46	柳工業デザイン研究会『歩道橋計画案展』リーフレット	八幡製鉄株式会社	1968	印刷物	柳工業デザイン研究会、日本デザインコミッティー
4-47	新しい日本のグッドデザイン展 図録	日本デザインコミッティー	1960	印刷物	日本デザインコミッティー
4-48	グッドデザイン展'61 図録	日本デザインコミッティー	1961	印刷物	日本デザインコミッティー
4-49	グッドデザイン展'62 図録	日本デザインコミッティー	1962	印刷物	日本デザインコミッティー
4-50	グッドデザイン展'64 図録	日本デザインコミッティー	1964	印刷物	日本デザインコミッティー
4-51	グッドデザイン展'66 図録	日本デザインコミッティー	1966	印刷物	日本デザインコミッティー
4-52	グッドデザイン展'68 デザインフォアリビング図録	日本デザインコミッティー	1968	印刷物	日本デザインコミッティー
4-53	ドイツデザイン展 図録	日本デザインコミッティー	1967	印刷物	日本デザインコミッティー
4-54	現代イタリアデザイン展 図録	日本デザインコミッティー	1965	印刷物	日本デザインコミッティー
4-55	デザインギャラリー DM はがき	日本デザインコミッティー	1960-69	印刷物	日本デザインコミッティー
4-56	日本デザインコミッティー企画展ポスター	日本デザインコミッティー	1968-02	印刷物	日本デザインコミッティー
4-57	「コミッティーと共に 30年」	勝見勝	1982	草稿	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-58	自筆メモ「ミラノトリエンナーレ コミッティー」	勝見勝	不詳	草稿	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-59	2月例会議題	日本デザインコミッティー	1973	青焼き	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-60	2月例会レポート	日本デザインコミッティー	1968	青焼き	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-61	11月例会レポート	日本デザインコミッティー	1967	青焼き	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-62	日本デザインコミッティー経歴	日本デザインコミッティー	1972	草稿	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-63	通産省広報(昭和52年10月27日)	通産省	1977	印刷物	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-64	コミッティーメンバー 旅行写真	日本デザインコミッティー	—	アルバム	日本デザインコミッティー

企画展

「第25回岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」展

会 期	2022年2月19日(土)～5月15日(日)
開催日数	71日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、 公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般700(560)円、高・大学生・65歳以上500(400)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	25,264名
1日平均	373名(小数点以下、四捨五入)
図 録	リーフレットA5(無料配布)
ポスター	B2
チ ラ シ	長形はがきサイズ
出品点数	24点
担 当 者	富永ももこ、千村曜子、篠原優、片岡香



リーフレット



DM



展示風景

■開催趣旨■

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。今年で25回目をむかえる本賞では、578点の応募があり、創造性あふれる24名(組)の作家が入選。また最終審査を経て、岡本太郎賞1名、岡本敏子賞1名、特別賞4名が決定しました。

■受賞者■

- 岡本太郎賞 吉元れい花《The thread is Eros, it's love!》
- 岡本敏子賞 三塚新司《Slapstick》
- 特 別 賞 伊藤千史《書店レジ前の平台》
- 特 別 賞 硬軟+stenographers《速記美術のエレメント》
- 特 別 賞 藤森哲《往日後来図》
- 特 別 賞 村上力《異形の森》



吉元れい花《The thread is Eros, it's love!》

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

- 「岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)展」『新美術新聞』2022年2月21日
- 「第25回岡本太郎現代芸術賞展」『月間ギャラリー』2022年3月号
- 「コロナ吹き飛ばす発想の力」『朝日新聞』2022年3月15日
- 「岡本太郎賞に吉元さん」『読売新聞』2022年3月26日
- 「社会の矛盾 芸術に昇華」『神奈川新聞』2022年4月18日
- 「名前のない問い 見えるように 三塚新司さん」『信濃毎日新聞』2022年5月10日

■関連事業■

・お気に入りを選ぼう

展示されている24点のTARO賞作品の中から、来館者がお気に入りの作品を選ぶイベント。1位の作品をオーディエンス賞とし、3位までにランクインした作家の皆さんに記念品を贈呈しました。受付で配布するカードにつけた赤いシールを、企画展示室出口にある投票ボードに貼って投票していただきました。

日時 2022年2月19日(土)～4月17日(日)

場所 ギャラリースペース

投票結果 1位 三塚新司《Slapstick》

2位 村上力《異形の森》

3位 因幡都頼《幸辛物語》

参加人数 8,083名



・お手紙プロジェクト

来館者が第25回TARO賞の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を手紙に書いてポストに投函しました。書かれた手紙はギャラリーの壁に展示され、作家から返事をもらえることも。来館者と作家が手紙を通じてつながるプロジェクトです。

日時 2022年2月19日(土)～5月15日(日)

場所 ギャラリースペース



・リレートーク (全4回)

出品作家によるギャラリートークです。

日時 2022年3月27日(日)、4月9日(土)、4月23日(土)、5月15日(日)

作家 青山 夢、井下 紗希、伊藤 千史、因幡 都頼、岡田 杏里、角 文平、GengoRaw(石橋友也+新倉健人)、硬軟+stenographers、平良 志季、張 安迪、津川 奈菜、出店 久夫、中澤 瑞季、野々上 聡人、藤森 哲、堀川 すなお、三塚 新司、村上 力、森下 進士、Yoko-Bon、吉元 れい花、与那覇 俊 (全22名(組))

■出品リスト■

No.	作家名/作品名	素材・技法	作品サイズ(cm)
1	青山 夢 《弥勒モラトリアム》	パネル、油彩、獣の皮、ミクストメディア、木、鉄	500×500×500
2	井下 紗希 《這う、知る、漲る》	油彩、キャンバス	260×500×250
3	伊藤 千史 《書店レジ前の平台》	ダンボール、胡粉ジェッソ、墨汁、その他(スチレンボード、布、画用紙、顔料絵具)	300×500×300
4	因幡 都頼 《幸辛物語》	麻紙、樹脂膠、墨、胡粉、岩絵具、水干絵具、アクリル、銀箔	90×10, 800×3
5	岡田 杏里 《Flor y Canto / 花と歌》	絵画: キャンバスにアクリル絵具 立体: アクリル絵具、押出ポリスチレン、木、モルタル、針金	500×500×500
6	岡田 智貴 《大覚》	紙粘土、段ボール、ボンド、ニス	438×480×150
7	角 文平 《Fountain》	ミクストメディア	400×400×500
8	GengoRaw(石橋友也+新倉健人) 《蒼顔AI》	映像(14分58秒)、LED、アクリル、紙	500×500×500

9	硬軟+stenographers 《速記美術のエレメント》	速記者による速記ドローイング(古事記、憲法前文、検定問題など)、映像(7分13秒)、ミクストメディア	480×500×500
10	平良 志季 《Let's go☆鎖国》	布、墨、絵具	500×500×500
11	高田 茉依 《8,000,000》	ミクストメディア	500×550×1.5
12	張 安迪 《皮・肉・芯》	パネル、雲肌麻紙、岩絵具、銅箔	220×350×3.3
13	津川 奈菜 《フレアスカートと幽霊》	鉛筆、パステル、アクリル絵具、紙	200×650×0.1
14	出店 久夫 《記憶断片つづれ織》	ゼラチンシルバープリント、パネル、ポリクロス紙、厚紙、ケンチントペーパー	500×500×500
15	中澤 瑞季 《Forest》	樟、アクリル絵具	290×300×240
16	野々上 聡人 《Drawing》	杉、檜にペイント	350×500×400
17	藤森 哲 《往日後来図》	油彩、キャンバス、綿布、パネル	350×500×500
18	堀川 すなお 《絵画：バナナ#550-554 “バナナ #3. (28)F. 観察；日本人 #1” 読み；val2010-11 ドローイング：“バナナ #3. (28)F. 観察；日本人 #1” 解；バナナ #570-605. 21》	絵画：顔料、ダンマルワニス、テレピン、オイルパステル、タルク、合成樹脂塗料、綿布、シナランバーパネル ドローイング：色鉛筆、マイラーフィルム	500×500×500
19	三塚 新司 《Slapstick》	バルーン、送風機	270×300×600
20	村上 力 《異形の森》	麻布、樹脂、漆、アクリル、木、電球、コード、鉄、竹、紙、皮、他	500×500×500
21	森下 進士 《青人草》	油絵具、木製パネル、エマルジョン地、木材	215×500×300
22	Yoko-Bon 《Reincarnation》	フェルト生地、染料、糸、アクリル、ビーズ、樹脂粘土、バルサ材、手芸用綿、スタイロフォーム、ワイヤー	210×200×200
23	吉元 れい花 《The thread is Eros, It's love!》	布(木綿、絹、ポリエステル等)、糸(木綿、絹、麻、レーヨン、ポリエステル、メタリック等)、木製パネル	500×500×100
24	与那覇 俊 《巨人病院⑤(1%の体験記)》	油性ペン 20色	150×1,500×1

2. 常設展

「岡本太郎と食」展

会 期	2021年4月15日(木)～7月4日(日)
開催日数	69日
観 覧 料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
チ ラ シ	A4
出品点数	約130点
担 当 者	篠原優



ポスター

■開催趣旨■

「生きものが生きものを食べるのは、まさに生命の交歓である。*」

人間の三大欲求の一つである「食」。岡本太郎にとっての「食」は、自身の中の原始的な感動をよびさますものであり、生活と芸術は一体であるという岡本の理念を実現させる糸口の一つでもありました。岡本がデザインしたインダストリアル作品の中にはティーポットやグラスなどの食器のほか、ワインクーラー付きのテーブルなど「食」の場を意識したものが数多く残されています。また、ダイナミックな書が躍る大皿や顔のある茶器などの一風変わった陶芸作品も手掛けました。

本展では岡本太郎にまつわる「食」をテーマに、メキシコのホテルの食堂のために依頼された壁画《豊饒の神話》の原画を中心として、油彩、陶器、インダストリアル作品、関連資料をあわせて紹介します。人生、芸術、そして食べることもまた戦いだと考えていた岡本の作品を「食」という視点から読みとく試みです。

*「食べ物に挑む 私の食時観」『暮らしの設計』中央公論社、1974年4月

■出品リスト■

※印の作品は岡本太郎記念館蔵。4月20日(火)から展示。

《ティーテーブル 遊び》は4月24日(土)から企画展示室での展示。

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	若い太陽の塔	岡本太郎	1969	FRP
2	二人	岡本太郎	1948	キャンバス、油彩
3	クリマ	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩
4	まひるの顔	岡本太郎	1948	キャンバス、油彩
5	夢の鳥	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩
6	サカナ	岡本太郎	1973	キャンバス、油彩
7	挑み	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩
8	にらめっこ	岡本太郎	1978	キャンバス、油彩
9	犬の植木鉢	岡本太郎	1955	陶磁

令和3年度 I. 事業報告 2. 常設展「岡本太郎と食」展

10	歓喜	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩
11	哄笑	岡本太郎	1986	ステンドグラス
※12	豊饒の神話	岡本太郎	1971年頃	キャンバス、油彩、板
13	オアハカの市場	岡本太郎	1967/7/29	ゼラチン・シルバー・プリント
14	トルカの市場	岡本太郎	1967/7/21	ゼラチン・シルバー・プリント
15	オアハカの市場	岡本太郎	1967/7/28	ゼラチン・シルバー・プリント
16	メルカド・メディシノス 果物市場	岡本太郎	1967/7/24	ゼラチン・シルバー・プリント
17	死の祭り 市場の様子	岡本太郎	1970	クロモジュニック・カラープリント
18	民芸品	岡本太郎	1970	クロモジュニック・カラープリント
19	民芸品	岡本太郎	1970	クロモジュニック・カラープリント
20	死の祭りのパン	岡本太郎	1970/11/2	クロモジュニック・カラープリント
21	黒い生きもの	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
22	夢の鳥	岡本太郎	1977	陶磁
23	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
24	風	岡本太郎	1968	陶磁
25	男の子	岡本太郎	制作年不明	陶磁
26	女の子	岡本太郎	制作年不明	陶磁
27	リョウラン	岡本太郎	制作年不明	プラスチック
28	歓喜	岡本太郎	1962	木版・紙
29	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP
30	まなざし	岡本太郎	1987	陶磁
31	はなたか	岡本太郎	1987	陶磁
32	聴く	岡本太郎	1987	陶磁
33	湯のみ	岡本太郎	1978	陶磁
34	馬	岡本太郎	1978	陶磁
35	花	岡本太郎	1978	陶磁
36	夢	岡本太郎	1978	陶磁
37	潮騒	岡本太郎	1987	陶磁
38	ふるさと	岡本太郎	1987	陶磁
39	浮遊	岡本太郎	1987	陶磁
40	笑くぼ	岡本太郎	1981	陶磁
41	耳助	岡本太郎	1981	陶磁
42	無邪気	岡本太郎	1981	陶磁
43	しっぽ	岡本太郎	1981	陶磁
44	青い炎	岡本太郎	1987	陶磁
45	味	岡本太郎	1988	陶磁
46	山川(夏)	岡本太郎	1989	陶磁

令和3年度 I. 事業報告 2. 常設展「岡本太郎と食」展

47	山川 (冬)	岡本太郎	1989	陶磁
48	顔	岡本太郎	1988	陶磁
49	顔	岡本太郎	1988	陶磁
50	顔	岡本太郎	1989	陶磁
51	眼と眼	岡本太郎	1982	紙、リトグラフ
52	愛	岡本太郎	1981	紙、リトグラフ
53	夢	岡本太郎	1980	紙、リトグラフ
54	炎	岡本太郎	1988	紙、油絵具、リトグラフ
55	挑み	岡本太郎	1988	紙、油絵具、リトグラフ
56	顔	岡本太郎	1988	紙、油絵具、リトグラフ
57	眼	岡本太郎	1988	紙、油絵具、リトグラフ
58	動物	岡本太郎	1959	RC
59	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	FRP
60	めざめ	岡本太郎	1975	合板
61	赤	岡本太郎	1975	合板
62	いこい	岡本太郎	1975	FRP、合板
63	風	岡本太郎	1975	合板
64	太陽と月	岡本太郎	1975	FRP、合板
65	飛行船《レインボー号》	岡本太郎	1973	FRP
66	マスク	岡本太郎	1970	FRP
67	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
68	駄々っ子 (椅子)	岡本太郎	1967	FRP
69	手の椅子	岡本太郎	1967	FRP
70	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
71	太陽	岡本太郎	1978	ガラス
72	いこい	岡本太郎	1978	ガラス
73	原色卓	岡本太郎	1967	合板、金属
74	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
75	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
76	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
77	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
78	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス
79	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ
80	祭り	岡本太郎	1985	FRP
81	縄文人	岡本太郎	1982	FRP
82	躍動	岡本太郎	1981	FRP
83	喜び	岡本太郎	1969	FRP

令和3年度 I. 事業報告 2. 常設展「岡本太郎と食」展

84	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミニウム
85	樹人	岡本太郎	1971	FRP
86	樹霊Ⅱ	岡本太郎	1971	FRP
87	赤い手	岡本太郎	1981	FRP
88	青い手	岡本太郎	1981	FRP
89	顔の大壺	岡本太郎	1987	陶磁
90	噴火口	岡本太郎	1981	陶磁
91	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
92	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
93	むすめ	岡本太郎	1982	陶磁
94	むすめ	岡本太郎	1981	ブロンズ
95	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1976	アルミニウム
96	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
97	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
98	国鉄民営化記念オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	1987	銀
99	ランプ	岡本太郎	1977	紙
100	いのち	岡本太郎	1986	アルミニウム
101	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
102	日本海博覧会	岡本太郎	1973	銀
103	不明	岡本太郎	制作年不明	金属
104	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
105	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
106	顔	岡本太郎	1952	陶磁
107	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
108	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
109	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
110	緑の太陽	岡本太郎	1969	ガラス
111	顔	岡本太郎	1990	ガラス
112	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
113	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
114	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
115	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
116	顔	岡本太郎	1978	革
117	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
118	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	FRP
119	東京オリンピック参加記念メダル	岡本太郎	1964	ブロンズ
120	札幌オリンピック冬季大会記念メダル	岡本太郎	1972	ブロンズ

令和3年度 I. 事業報告 2. 常設展「岡本太郎と食」展

121	オリンピックミュンヘン大会公式参加メダル	岡本太郎	1972	ブロンズ
122	オリンピックミュンヘン大会公式参加メダル	岡本太郎	1972	銀
123	ティーテーブル 遊び	岡本太郎	1967	合板、金属
124	海の幸山の幸	岡本一平	制作年不明	紙、墨、絵具
125	チャップリンせんべい	岡本一平	制作年不明	紙、絵具
126	チャップリンせんべい原稿	岡本一平	制作年不明	紙、インク
127	一平筆新津宛葉書	岡本一平	制作年不明	墨、紙
128	肉筆漫画 開國六十年史図絵	岡本一平	制作年不明	紙、墨、絵具
129	白梅	岡本かの子	192年以降	絹、墨
130	岡本太郎宛 勅使河原蒼風 書簡	勅使河原蒼風	1955	紙、墨

常設展

「太郎さんの心の中を楽しもう！」展

会 期	2021年7月8日(木)～10月11日(月)
開催日数	82日
観 覧 料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
チ ラ シ	A4
出品点数	109点
担 当 者	千村曜子、鈴木亜優、佐藤玲子



ポスター

■開催趣旨■

岡本太郎の作品からは、じつにさまざまな感情があふれだしています。絵画にとどまらず、壁画や彫刻、家具や日用品といったプロダクトデザインに至るまで、まるで太郎さんの感情そのものが創作の源泉になっているようです。作品の前に立つと、不思議な表情に笑ってしまったり、びっくりさせられたり、激しい色彩に気持ちを揺さぶられたり、見ているこちら側もいろんな感情を呼び起こします。

本展では、ユーモラスな表情が来館者からも人気の《坐ることを拒否する椅子》を一堂に展示いたします。また展示の一部は、あえて作品名を付けていませんので、タイトルに縛られず、ぜひイマジネーションを膨らませてみてください。小さな子どものように、にこにこ笑いながら作品とにらめっこをしたり、眉間にしわを寄せながら恐る恐る作品に立ち向かったり……。 「見ることは、創ること」という太郎さんの言葉どおり、作品を通して岡本太郎の心の中を感じ、見る側の心が動く瞬間も楽しんでいただけるしかけを施し、紹介しました。

■関連イベント■

・オリジナルタイトルをつけてみよう

展示作品《重工業》《傷ましき腕》のキャプションタイトルを空白とし、オリジナルのタイトルを考えてもらいました。作品をよく見るきっかけになり、また様々なタイトルが集まり、それらのタイトルを掲示し、ほかの人の絵の見方を知るきっかけになり楽しまれていました。

期間：2021年7月8日(木)～10月11日(月)

場所：ギャラリースペース

参加者数：《傷ましき腕》：529名 《重工業》：546名



・ワークシート配布「見るみるTARO」

作品を深く感じて、みるみる太郎さんに近づけるワークシートを配布しました。太郎さんは、絵を見ることは、創ることでもあると言っています。作品から受けた印象をもとにイマジネーションをふくらませて鑑賞しました。

配布期間：2021年7月17日(土)～9月10日(金)

配布場所：常設展示室入口横

サイズ：A5

配布枚数：1920枚



・太郎さんにお手紙を書こう

太郎さんや太郎作品への思いの手紙を書くスペースを設置し、特設ポストに投函してもらいました。子どもから大人まで、熱い思いをお寄せいただいた手紙は掲示し、心温まるお手紙に立ち止まる来館者が多く見られました。

期間：2021年7月17日(土)～8月22日(日)

場所：ギャラリースペース

お便り数：210通



■出品リスト■

No.	作品名	作家名	制作年	材質・技法
1	こどもの樹	岡本太郎	1985	FRP
2	東京オリンピック参加記念メダル	岡本太郎	1964	ブロンズ
3	札幌オリンピック冬季大会記念メダル	岡本太郎	1972	ブロンズ
4	オリンピックミュンヘン大会公式参加メダル	岡本太郎	1972	ブロンズ
5	オリンピックミュンヘン大会公式参加メダル	岡本太郎	1972	銀
6	東京オリンピック参加記念メダル	岡本太郎	1964	FRP
7	マラソン	岡本太郎	1964	キャンバス・油彩
8	跳ぶ	岡本太郎	1963	キャンバス・油彩
9	樹人	岡本太郎	1951	キャンバス・油彩
10	よろこび	岡本太郎	1982	キャンバス・油彩
11	クリマ	岡本太郎	1951	キャンバス・油彩
12	犬	岡本太郎	1954	キャンバス・油彩
13	まひるの顔	岡本太郎	1948	キャンバス・油彩
14	顔	岡本太郎	1988	紙・油絵具・リトグラフ
15	炎	岡本太郎	1988	紙・油絵具・リトグラフ
16	夢	岡本太郎	1980	紙・油絵具・リトグラフ
17	愛	岡本太郎	1981	紙・油絵具・リトグラフ
18	太陽	岡本太郎	1981	紙・油絵具・リトグラフ
19	至上命令	岡本太郎	1988	紙・油絵具・リトグラフ
20	まひる	岡本太郎	1988	紙・油絵具・リトグラフ
21	装える戦士	岡本太郎	1988	紙・油絵具・リトグラフ
22	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
23	海辺の肖像	岡本太郎	1973	キャンバス・油彩
24	顔 IV	岡本太郎	1968	キャンバス・油彩
25	眼と眼	岡本太郎	1992	キャンバス・油彩
26	にらめっこ	岡本太郎	1978	キャンバス・油彩
27	哄笑	岡本太郎	1986	ステンドグラス

28	ノン	岡本太郎	1970	FRP
29	赤のアイコン	岡本太郎	1961	キャンバス・油彩
30	装える戦士	岡本太郎	1962	キャンバス・油彩
31	重工業	岡本太郎	1949	キャンバス・油彩
32	風神	岡本太郎	1961	キャンバス・油彩
33	足場	岡本太郎	1965	紙・墨・絵具
34	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP
35	傷ましき腕	岡本太郎	1936/49	キャンバス・油彩
36	マスク	岡本太郎	1959	キャンバス・油彩
37	千手	岡本太郎	1965	キャンバス・油彩
38	動物	岡本太郎	1959	RC
39	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	FRP
40	めざめ	岡本太郎	1975	合板
41	赤	岡本太郎	1975	合板
42	いこい	岡本太郎	1975	FRP、合板
43	風	岡本太郎	1975	合板
44	太陽と月	岡本太郎	1975	FRP、合板
45	飛行船《レインボー号》	岡本太郎	1973	FRP
46	マスク	岡本太郎	1970	FRP
47	駄々っ子(椅子)	岡本太郎	1967	FRP
48	手の椅子	岡本太郎	1967	FRP
49	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
50	スツール	岡本太郎	1967	アルミニウム、布
51	サイコロ椅子	岡本太郎	1957	籐
52	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
53	原色卓	岡本太郎	1967	合板、金属
54	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
55	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
56	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス
57	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
58	手の灰皿	岡本太郎	1979	ガラス
59	むすめ	岡本太郎	1967	陶磁
60	いこい	岡本太郎	1978	ガラス
61	太陽	岡本太郎	1978	ガラス
62	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ
63	エラン	岡本太郎	1976	FRP
64	踊り	岡本太郎	1982	FRP
65	女神像	岡本太郎	1979	FRP

66	祭り	岡本太郎	1985	FRP
67	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミニウム
68	樹人	岡本太郎	1971	FRP
69	樹霊Ⅱ	岡本太郎	1971	FRP
70	赤い手	岡本太郎	1981	FRP
71	青い手	岡本太郎	1981	FRP
72	顔の大壺	岡本太郎	1987	陶磁
73	噴火口	岡本太郎	1981	陶磁
74	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
75	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
76	むすめ	岡本太郎	1982	陶磁
77	むすめ	岡本太郎	1981	ブロンズ
78	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1976	アルミニウム
79	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
80	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
81	国鉄民営化記念オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	1987	銀
82	トランプ	岡本太郎	1977	紙
83	いのち	岡本太郎	1986	アルミニウム
84	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
85	日本海博覧会	岡本太郎	1973	銀
86	不明	岡本太郎	不明	金属
87	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
88	花ひらく	岡本太郎	1977	磁器
89	顔	岡本太郎	1952	磁器
90	爆発	岡本太郎	1981	磁器
91	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
92	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ
93	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
94	緑の太陽	岡本太郎	1969	ガラス
95	顔	岡本太郎	1990	ガラス
96	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
97	人間ボトル	岡本太郎	1985	磁器
98	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
99	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
100	顔	岡本太郎	1978	革
101	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
102	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	FRP
103	近鉄バファローズ	岡本太郎	制作年不明	布

104	親子因縁	岡本一平画、 岡本かの子書	制作年不明	紙、墨、絵具
105	肉筆漫画色紙	岡本一平	制作年不明	紙、墨
106	潮来へオイデ	岡本一平	制作年不明	紙、墨、絵具
107	老妓抄 川	岡本一平	制作年不明	書籍
108	ひととせのはてなるいこひ	岡本かの子著、 岡本太郎 表紙装丁	制作年不明	
109	ある夫婦の六態・浮世六態	岡本かの子	制作年不明	紙、墨、絵具

常設展

「ベラボーナ岡本太郎」展

会 期	2021年10月15日(金)～2022年1月16日(日)
開催日数	74日
観 覧 料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
チ ラ シ	A4
出品点数	160点
担 当 者	佐藤明由美、片岡香



ポスター

■開催趣旨■

岡本太郎の代表作の一つとして知られる《太陽の塔》は、1970年に開催された日本万国博覧会（大阪万博）のテーマ館として作られました。大阪万博のテーマ「人類の進歩と調和」のもと、会場には近未来的なパビリオンが配置され、世界各国の新技術や文化が集結。一方で、万博のテーマ館プロデューサーに就任した太郎は、このテーマに疑問を呈し「ベラボーナものを作る」と宣言しました。そしてモダニズムとは正反対の、太古の昔からそこに生えていたような“ベラボーナ”塔を打ち立てます。

《太陽の塔》のみならず、太郎の生み出した作品と活動の幅そのものもまさに“ベラボーナ”もの。太郎は画家として出発しましたが、絵画や彫刻のみならず、日用品や家具、建築に至るまで、ひとつの枠にとどまらない制作活動を行いました。また作品制作のかたわら、積極的にテレビやCMなどのメディアにも出演し、言葉を発信し続けました。太郎の生み出した作品は、街中のパブリックアートや、日用品のデザイン、作品をモチーフにしたグッズなどを通して、今もなお私たちの身近に存在し続けています。

本展では、岡本太郎生誕110周年に際し、《太陽の塔》をはじめとする太郎の“ベラボーナ”作品とその軌跡を紹介しました。

■出品リスト■

【岡本太郎作品】

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	若い太陽の塔	岡本太郎	1969	FRP
2	重工業	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩
3	青空	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩
4	空間	岡本太郎	1934(1954)	キャンバス、油彩
5	傷ましき腕	岡本太郎	1936(1949)	キャンバス、油彩
6	犬	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩
7	駄々っ子	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩
8	飛ぶ眼	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
9	アドレッサン	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩

令和3年度 I. 事業報告 2. 常設展「ベラボーナ岡本太郎」展

10	哄笑	岡本太郎	1986	ガラス
11	明日の神話	岡本太郎	1968	キャンバス、油彩
12	マミ会館	岡本太郎	1968	FRP
13	犬の植木鉢	岡本太郎	1955	陶磁
14	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
15	夢の鳥	岡本太郎	1977	陶磁
16	手の灰皿	岡本太郎	1979	ガラス
17	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス
18	男の子	岡本太郎	不明	陶磁
19	女の子	岡本太郎	不明	陶磁
20	人間と自然	岡本太郎	1975	銀
21	札幌オリンピック冬季大会記念メダル	岡本太郎	1972	ブロンズ
22	オリンピックミュンヘン大会公式参加メダル	岡本太郎	1972	銀
23	オリンピックミュンヘン大会公式参加メダル	岡本太郎	1972	ブロンズ
24	顔の椅子	岡本太郎	1953	木
25	ほおずえ	岡本太郎	1968	FRP、布、金属
26	顔のスピーカー	岡本太郎	1971	布、木、FRP
27	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
28	むすめ	岡本太郎	1967	陶磁
29	顔の植木鉢	岡本太郎	1988	陶磁
30	光る時計	岡本太郎	1967	アクリル、金属、ライト
31	ネクタイ	岡本太郎	—	絹
32	スカーフ	岡本太郎	—	絹
33	トランプ	岡本太郎	1977	紙
34	踊る	岡本太郎	1969	毛
35	敗惨の歎き	岡本太郎	1925	紙、絵具
36	愛	岡本太郎	1981	紙、リトグラフ
37	夢	岡本太郎	1988	紙、油絵具、リトグラフ
38	炎	岡本太郎	1988	紙、油絵具、リトグラフ
39	まひる	岡本太郎	1988	紙、油絵具、リトグラフ
40	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP
41	万博の鍵	岡本太郎	1970	FRP
42	戦士	岡本太郎	1971	FRP
43	動物	岡本太郎	1959	RC
44	万国博・テーマの塔建設工事 原設計縮小図	岡本太郎	—	—
45	太陽の塔 立面図	岡本太郎	—	鉛筆・トレーシングペーパー
46	生命の樹・生物スケッチ	岡本太郎	—	鉛筆・インク・トレーシングペーパー

令和3年度 I. 事業報告 2. 常設展「ペラボーな岡本太郎」展

47	太陽の塔 外観	岡本太郎	—	—
48	テーマ館 地下展示	岡本太郎	—	—
49	飛行船《レインボー号》	岡本太郎	1973	FRP
50	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	FRP
51	マスク	岡本太郎	1970	FRP
52	風	岡本太郎	1975	合板
53	赤	岡本太郎	1975	合板
54	めざめ	岡本太郎	1975	合板
55	太陽と月	岡本太郎	1975	FRP、合板
56	いこい	岡本太郎	1975	FRP、合板
57	サイコロ椅子	岡本太郎	1957	藤
58	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
59	駄々っ子(椅子)	岡本太郎	1969	FRP
60	手の椅子	岡本太郎	1967	FRP
61	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
62	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
63	ティーテーブル 遊び	岡本太郎	1967	合板、金属
64	まどろみ	岡本太郎	1967	FRP、布、金属
65	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
66	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
67	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
68	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
69	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
70	あし	岡本太郎	1978	ガラス
71	いこい	岡本太郎	1978	ガラス
72	太陽	岡本太郎	1978	ガラス
73	樹霊 I	岡本太郎	1970	FRP
74	樹霊 II	岡本太郎	1971	FRP
75	河童像	岡本太郎	1981	FRP
76	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミニウム
77	祭り	岡本太郎	1985	FRP
78	こどもの樹	岡本太郎	1985	FRP
79	ノン	岡本太郎	1970	FRP
80	太陽	岡本太郎	1985	FRP
81	樹人	岡本太郎	1971	FRP
82	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ
83	むすめ	岡本太郎	1981	ブロンズ

令和3年度 I. 事業報告 2. 常設展「ペラボーな岡本太郎」展

84	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
85	むすめ	岡本太郎	1982	陶磁
86	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
87	噴火口	岡本太郎	1981	陶磁
88	顔の大壺	岡本太郎	1987	陶磁
89	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1976	アルミニウム
90	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
91	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
92	国鉄民営化記念オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	1987	銀
93	トランプ	岡本太郎	1977	紙
94	いのち	岡本太郎	1986	アルミニウム
95	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
96	日本海博覧会	岡本太郎	1973	銀
97	不明	岡本太郎	不明	金属
98	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
99	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
100	顔	岡本太郎	1952	陶磁
101	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
102	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
103	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ
104	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
105	緑の太陽	岡本太郎	1969	ガラス
106	顔	岡本太郎	1990	ガラス
107	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
108	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
109	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
110	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
111	顔	岡本太郎	1978	革
112	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
113	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	FRP
114	近鉄バファローズ	岡本太郎	不明	布
115	不明	岡本太郎	1964	ガラス、絵具

【岡本一平・かの子作品】

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
116	イカダ流し	岡本一平	不明	紙、墨、絵具

117	漱石八態	岡本一平	不明	紙、墨、絵具
118	かの子撩乱	著：瀬戸内晴美 装丁：岡本太郎	不明	—
119	ある夫婦の六態・浮世六態	岡本一平	不明	紙、墨、絵具
120	白梅	岡本かの子	不明	絹、墨

【太陽の塔グッズ】

No.	商品名	発売年
121	岡本太郎生誕100年記念 1/500 スケール 太陽の塔	2011
122	1/144 スケール 太陽の塔	2013
123	1/350 スケール 太陽の塔	2010
124	太陽の塔 ブロンズ彩色仕上げ	2018
125	岡本太郎と太陽の塔	2013
126	タイムスリップグリコ大阪万博編 太陽の塔 2005	2005
127	タイムスリップグリコ大阪万博編 太陽の塔	2005
128	タイムスリップグリコ大阪万博編 お祭り広場	2005
129	マグカップ 太陽の塔	—
130	コップのフチの太陽の塔 腰かけ太陽の塔	2015
131	コップのフチの太陽の塔 ひっかかり太陽の塔	2015
132	コップのフチの太陽の塔 ふりむき太陽の塔	2015
133	コップのフチの太陽の塔 逆さひっかかり太陽の塔	2015
134	コップのフチの太陽の塔 乗り越え太陽の塔	2015
135	コップのフチの太陽の塔 コップのフチの太郎	2015
136	コップのフチの太陽の塔 敏子さんと太陽の塔	2015
137	フィギュア 地底の太陽 (1/43 スケール)	2018
138	太陽の塔 4つの顔	2018
139	超合金 太陽の塔のロボ	2014
140	太陽の塔のロボ ラバークリップ 変形形態2	2014
141	太陽の塔のロボ ラバークリップ 変形形態3	2014
142	太陽の塔のロボ フレキシブルラバーマット 実写デザイン	2014
143	太陽の塔のロボ フレキシブルラバーマット ロボデザイン	2014
144	太陽の塔のロボ フレキシブルラバーマット 青焼図面デザイン	2014
145	太陽の塔 ぬいぐるみ だるま風	2017
146	太陽の塔 ぬいぐるみ ぶるぶる	2017
147	太陽の塔 お手玉S	2017
148	太陽の塔 お手玉M	2017
149	太陽の塔 お手玉L	2017

150	太陽の塔 リールパス	2017
151	太陽の塔 めいぐるみ (這型)	2017
152	太陽の塔 めいぐるみ マグネット	2017
153	iPhone6/7/8 用ケース(太陽の塔)	—
154	マグネット 太陽の塔	—
155	マグネット 太陽の塔 背面	—
156	ポストカードセット 太陽の塔	—
157	シール 太陽の塔	—
158	ステッカー 太陽の塔	—
159	ステッカー 太郎と太陽の塔	—
160	一筆箋 モノクロ太陽の塔	—

常設展

「岡本太郎と夜—透明な渾沌」展

会 期	2022年1月20日(木)～5月8日(日)
開催日数	93日
観 覧 料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
チ ラ シ	A4
出品点数	136点
担 当 者	富永ももこ、片岡香



ポスター

■開催趣旨■

「夜—透明な渾沌」、この言葉は岡本の著書、『美の呪力』の章タイトルです。「岡本太郎と夜」、この組み合わせは一見意外に思えるかもしれませんが。《太陽の塔》や、原色を多用した鮮烈な色彩—こうしたイメージからか、ときに「太陽の人」と呼ばれた岡本ですが、岡本と夜の関係は思いのほか、深いものなのです。「太陽の輝くとき、だが絢爛なる陽をあおいで、ふり向くと、広大な夜がひろがる」と言うように、岡本が太陽を見つめるとき、その視線は夜にもまた向けられていたのです。代表作のひとつでもある《夜》をはじめとし、1948年に結成した芸術団体「夜の会」も、岡本を語るうえで欠かせないでしょう。さらに岡本の描いたさまざまな「夜」を、著作における言葉や史料を引用しながら展示しました。本展では、「夜」というキーワードによって岡本作品を読み解くことで、その新たな一面をご紹介します。さらに、岡本が「透明な渾沌」と称した夜の世界観を体感していただくことを企図し、暗闇で光る照明作品を一堂に集める等の展示演出を行いました。

■出品リスト■

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	星・花・人	岡本太郎	1971	木、プラスチック、LED
2	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミ、RC、金属、ライト
3	哄笑	岡本太郎	1986	ガラス
4	人類学博物館		1952	パネル(ゼラチン・シルヴァー・プリント)
5	歌うたいの乞食		1952	パネル(ゼラチン・シルヴァー・プリント)
6	無題		1952	パネル(ゼラチン・シルヴァー・プリント)
7	ル・コルビュジエ アパートの幼稚園にて		1952	パネル(ゼラチン・シルヴァー・プリント)
8	パリ風景		1952	パネル(ゼラチン・シルヴァー・プリント)
9	コンポジション	ハンス・(ジャン)・アルプ	1930/1973	紙、シルクスクリーン
10	幾何学的リズム	マウロ・レヅジャーニ	1932/1973	紙、シルクスクリーン
11	渦巻	ハンス・エルニ	1936/1973	紙、シルクスクリーン
12	コンポジション	ジェラルド・ヴェリアミ	1933/1973	リトグラフ、紙
13	雲	岡本太郎	1934	パネル(キャンバス、油彩)

令和3年度 I. 事業報告 2. 常設展「岡本太郎と夜—透明な渾沌」展

14	リボン	岡本太郎	1935	パネル(キャンバス、油彩)
15	露店	岡本太郎	1935	パネル(キャンバス、油彩)
16	リボンを結んだ女	岡本太郎	1936	パネル(キャンバス、油彩)
17	傷ましき腕	岡本太郎	1936/1949	パネル(キャンバス、油彩)
18	『ACEPHALE』		1980	書籍
19	岡本太郎旧蔵 バタイユ関連書籍			書籍
20	岡本太郎 直筆メモ			書籍
21	空間	岡本太郎	1934/1954	キャンバス、油彩
22	視る	岡本太郎	1974	紙、絵具、シルクスクリーン
23	エクセホモ	岡本太郎	1974	紙、絵具、シルクスクリーン
24	ポジション	岡本太郎	1974	紙、絵具、シルクスクリーン
25	具現	岡本太郎	1974	紙、絵具、シルクスクリーン
26	赤	岡本太郎	1974	紙、絵具、シルクスクリーン
27	アドレッサン	岡本太郎	1974	紙、絵具、シルクスクリーン
28	悲しい動物	岡本太郎	1966	キャンバス、油彩
29	ノン	岡本太郎	1970	FRP
30	電撃	岡本太郎	1947	紙、鉛筆、インク
31	『岡本太郎に乾杯』原稿	岡本敏子	1997	紙
32	新しい芸術の探求	夜の会編	1949	書籍
33	錯乱の論理	岡本太郎装幀	1947	書籍
34	深夜の告白	岡本太郎装幀	1954	書籍
35	星座の痛み	岡本太郎装幀	1949	書籍
36	真空地帯	岡本太郎装幀	1955	書籍
37	半人間	岡本太郎装幀	1954	書籍
38	黒い太陽	岡本太郎	1959	書籍
39	画文集アヴァンギャルド	岡本太郎	1948	書籍
40	月の顔ペーパーウェイト	岡本太郎	1990	鉄
41	夜の会合	岡本太郎	1973	キャンバス、油彩
42	子供の時間	岡本太郎	1975	FRP
43	まひるの顔	岡本太郎	1948	キャンバス、油彩
44	黒い太陽	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩
45	夜	岡本太郎	1947	キャンバス、油彩
46	まひるの生物	岡本太郎	1962	キャンバス、油彩
47	美女と野獣	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩
48	二つの顔	岡本太郎	1957	キャンバス、油彩
49	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
50	白昼夢	北代省三	1948/1989	キャンバス、油彩

51	少女と太陽	北代省三	1948/1989	キャンバス、油彩
52	夜の会合	横尾忠則	1997	アクリル、キャンバス、油彩
53	秘教	岡本太郎	1962	紙、油彩
54	愛	岡本太郎	1981	リトグラフ・紙
55	夢	岡本太郎	1988	紙、油絵具、リトグラフ
56	炎	岡本太郎	1988	紙、油絵具、リトグラフ
57	まひる	岡本太郎	1988	紙、油絵具、リトグラフ
58	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP
59	流れる夢	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩
60	愛憎	岡本太郎	1983	キャンバス、油彩
61	夢の樹	岡本太郎	1983	FRP
62	めざめ	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩
63	海辺の肖像	岡本太郎	1973	キャンバス、油彩
64	仮面劇	岡本太郎	1986	キャンバス、油彩
65	動物	岡本太郎	1959	RC
66	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	FRP
67	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
68	駄々っ子	岡本太郎	1969	FRP
69	めざめ	岡本太郎	1975	合板
70	赤	岡本太郎	1975	合板
71	いこい	岡本太郎	1975	FRP、合板
72	風	岡本太郎	1975	合板
73	太陽と月	岡本太郎	1975	FRP、合板
74	サイコロ椅子	岡本太郎	1957	藤
75	手の椅子	岡本太郎	1967	FRP
76	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
77	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
78	ティーテーブル 遊び	岡本太郎	1967	合板、金属
79	まどろみ	岡本太郎	1967	FRP、布、金属
80	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
81	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
82	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
83	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
84	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
85	あし	岡本太郎	1978	ガラス
86	いこい	岡本太郎	1978	ガラス
87	太陽	岡本太郎	1978	ガラス

令和3年度 I. 事業報告 2. 常設展「岡本太郎と夜—透明な渾沌」展

88	樹霊 I	岡本太郎	1970	FRP
89	樹霊 II	岡本太郎	1971	FRP
90	河童像	岡本太郎	1981	FRP
91	リョウラン	岡本太郎	1989	FRP
92	太陽	岡本太郎	1985	FRP
93	未来を視る	岡本太郎	1984	FRP
94	月の顔	岡本太郎	1981	FRP
95	エラン	岡本太郎	1976	FRP
96	樹人	岡本太郎	1971	FRP
97	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ
98	むすめ	岡本太郎	1981	ブロンズ
99	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
100	むすめ	岡本太郎	1982	陶磁
101	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
102	噴火口	岡本太郎	1981	陶磁
103	顔の大壺	岡本太郎	1987	陶磁
104	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1976	アルミニウム
105	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
106	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
107	国鉄民営化記念オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	1987	銀
108	トランプ	岡本太郎	1977	紙
109	いのち	岡本太郎	1986	アルミニウム
110	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
111	日本海博覧会	岡本太郎	1973	銀
112	不明	岡本太郎	不明	金属
113	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
114	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
115	顔	岡本太郎	1952	陶磁
116	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
117	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
118	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ
119	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
120	緑の太陽	岡本太郎	1969	ガラス
121	顔	岡本太郎	1990	ガラス
122	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
123	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
124	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック

令和3年度 I. 事業報告 2. 常設展「岡本太郎と夜—透明な渾沌」展

125	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
126	顔	岡本太郎	1978	革
127	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
128	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	FRP
129	近鉄バファローズ	岡本太郎	不明	布
130	不明	岡本太郎	1964	ガラス、絵具
131	邂逅	岡本太郎	1971	FRP
132	浄裸々赤酒々	岡本一平	不明	紙、墨、絵具
133	漫画色紙	岡本一平	不明	紙、墨、鉛筆
134	生々流転	著者：岡本かの子 装幀：岡本太郎	1940	—
135	アベック銀ブラ買い物記	文：岡本かの子 絵：岡本一平	1934	紙、インク、鉛筆
136	不明	岡本一平	不明	紙、墨、絵具

3. 収集・保存・貸出

収集作品及び資料（購入）

作者名	作品名	購入元	摘要
村上善男	《津軽・鱈街道五拾壱紅点行列 圖》 ミクストメディア、キャンバス	株式会社ギャラリー青城	¥770,000 (税込)

作品修復

作品名	作者名	制作年	分類	作品番号	修復内容	修復者
面	岡本太郎	1975	油彩	1000078	黴孢子除去、亀裂部接着、画面洗淨、手垢除去、絵具剥落部充填、同充填部補彩、擦傷部修復、保護膜塗布	有限会社吉村美術研究所
プロフィール	岡本太郎	1975	油彩	1000083		
駄々っ子	岡本太郎	1980	油彩	1000085		
遭遇	岡本太郎	1981	油彩	1000104		
眼の立像	岡本太郎	1981	油彩	1000105		
呼ぶ	岡本太郎	1984	油彩	1000112		
踊る人	岡本太郎	1984	油彩	1000114	絵具亀裂部及び浮上部接着	
風神	岡本太郎	1961	油彩	1000033		

《母の塔》調査・洗淨

実施内容：目視調査、ドローン調査、高所作業車を用いた洗淨調査、母の塔躯体内部の人体固定個所の調査、下部モザイクタイル表面の洗淨

実施者：有限会社ブロンズスタジオ（ドローン撮影：セプトゥーフाइブ株式会社）

貸出作品及び資料

本年度貸出作品：5件、143点

作品名	作家名	制作年	分類	展覧会名／会期・会場
明日の神話	岡本太郎	1968	油彩	

トルカの市場 (2点)	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	「メキシコ独立200周年 メヒコの衝撃 メキシコ体験は日本の根底を揺さぶる」展 2021. 7. 10-9. 26 市原湖畔美術館
オハカの市場 (2点)	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
ソチミルコ	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
メルカド・メディンノス	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
コアトリクエ全体 (国立人類学博物館)	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
オハカ郊外 (2点)	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
トルコルーラの市場	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
ジャグル (2点)	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
サンクリストバル (2点)	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
ウシュマル	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
パレンケ	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
チチェン・イツァの遺跡	岡本太郎	1967 (撮影)	写真	
森の掟	岡本太郎	1950	油彩	「長野県立美術館グランドオープン記念 森と水と生きる」展 2021. 8. 28-11. 3 長野県立美術館
縄文人	岡本太郎	1982	画像データ	「新館オープン1周年記念 秋季特別展『岡本太郎が見て、撮った縄文』」 2021. 10. 2-11. 14 十日町市博物館
岡本太郎撮影写真 (38点)	岡本太郎		画像データ	
二人	岡本太郎	1948	油彩	「山口勝弘展 『日記』 (1945-1955) に見る」 2022. 2. 12-4. 17 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
ハンドピース・グラフィティ	北代省三、武満徹、山口勝弘	1950年代	絵画	
ハンドピース・グラフィティ	山口勝弘	1950年代	絵画	
ハンドピース・グラフィティ	福島秀子	1950年代	絵画	
ハンドピース・グラフィティ	湯浅譲二	1950年代	絵画	
ハンドピース・グラフィティ	武満徹	1950年代	絵画	
ハンドピース・グラフィティ	不詳	1950年代	絵画	
白昼夢 (エスキース)	北代省三	1948	絵画	
少女と太陽 (エスキース)	北代省三	1948	水彩	

エントロピー	北代省三	1948	水彩	
シーラカンス	北代省三	1953/ 1990	立体	
スペース・モデレーター	北代省三	1956/ 1992	立体	
「APN」のための構成	構成:北代省三 撮影:大辻清司	1953/ 1993	写真	
斎藤義重/浦安 (2点)	北代省三	1958/ 1993	写真	
「モダンアート夏季講習会」聴講券		1948	資料	
「世紀」会員証		1949	資料	
「プロワール」パンフレット		1949	資料	
「アトム」草案		1951	資料	
横山はるひバレエ公演「河童」ポスター	デザイン: 北代省三	1951	資料	
「ピカソ祭」プログラム		1951	資料	
「実験工房第2回発表会現代作品演奏会」ポスター		1952	資料	
「実験工房第5回発表会」プログラム	デザイン: 北代省三	1953	資料	
「実験工房 シェーンベルク作品発表会」プログラム	デザイン: 北代省三	1954	資料	
「ウォルター・ギーゼキング演奏会」プログラム	デザイン: 北代省三	1953	資料	
「バレエ実験劇場」プログラム	デザイン: 北代省三	1955	資料	
斎藤義重/浦安 (24点)	北代省三	1958	画像データ	
マスク	岡本太郎	1970	レリーフ	「まれびとと祝祭—祈りの神秘、芸術の力」展 2022. 3. 2-8. 21 日本橋高島屋史料館 TOKYO
笑い	岡本太郎	1952	陶器	
風神	岡本太郎	1978	陶器	
雷神	岡本太郎	1978	陶器	
岡本太郎撮影写真 (31点)	岡本太郎		写真パネル	

4. 情報・刊行物

刊行物

刊行物名	サイズ	内容	発行部数
川崎市岡本太郎美術館ニュース 「TARO」 MUSEUM NEWS Vol. 74~77	21×13.5 (cm) 三つ折	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展案内 ・常設展案内 ・イベント報告 ・美術館カレンダー ・美術館利用案内 	20,000部 (各5,000部発行)
令和2年度 川崎市岡本太郎美術館年報 当館ホームページにて、PDF版の閲覧が可能 https://www.taromuseum.jp/report.html	A4版	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告 (企画展、常設展、共催・協力企画展、収集・保存・貸出、情報・刊行物、教育・普及事業、美術館協議会、資料収集・評価委員会) ・資料 (入館者数統計、美術館事業予算・決算概要) ・組織名簿 ・美術館概要 ・美術館条例・規則 	300部



美術館ニュース「TARO」 Vol. 74~77



令和2年度

川崎市岡本太郎美術館年報

5. 教育・普及事業 イベント・ワークショップ

・TARO 鯉にいどむ！ in ラゾーナ川崎プラザ

日 時	2021年4月4日(日) ①10:00～11:30 ②12:30～14:00 ③15:00～16:30
作品展示日程	2021年4月24日(土)～5月5日(水祝)
内 容	恒例となった出張ワークショップ「TARO 鯉に挑む！」を川崎駅に隣接しているラゾーナ川崎プラザのイベント会場で行いました。TARO 鯉や子ども達のつくったカラフルな鯉のぼりに誘われて、親子で楽しく制作する様子が見受けられました。普段、美術館に行く機会が少ない方達にも、岡本太郎美術館に興味をもつきっかけになっていました。
場 所	ラゾーナ川崎プラザ イベントスペース
料 金	無料
参加人数	①18名 ②18名 ③18名(当日受付)



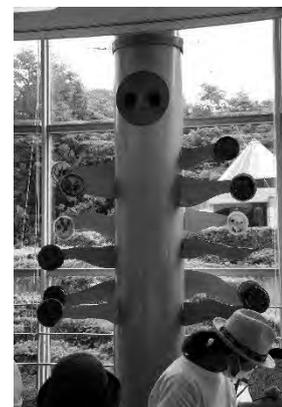
・TARO 鯉にいどむ！ 2021

日 時	2021年4月 ①18日(日) ②25日(日) 各 13:00～15:30
作品展示日程	2021年5月1日(土)～5月5日(水祝)
内 容	今年で8回目になる恒例イベントで、常設展の作品をはじめ、屋外に展示している《TARO 鯉》を鑑賞し、アトリエでオリジナルの鯉のぼりを制作し、母の塔広場に展示しました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、今年は、対策として定員を半数に行ったため、人との距離も十分にとれ、参加者は安心して楽しく、制作をしている様子でした。GW 期間中の広場での展示は、これまでの鯉のぼりを含め、100尾が泳ぎ、生田緑地を訪れる人を楽しませていました。
場 所	創作アトリエ、常設展示室、ギャラリースペース、母の塔前広場
料 金	無料(要観覧料)
参加人数	①10組(子ども10名、大人10名) ②10組(子ども11名、大人10名) (先着順/電話受付)



・こどもの樹で祝おうこどもの日！

日 時	2021年5月2日(日) 13:30～15:30
内 容	《こどもの樹》には、個性豊かな顔が並びます。こどもの日を前に《こどもの樹》のそれぞれの顔の台紙に色とりどりの紙テープを接着し顔を描きました。出来上がった顔で、大きな「こどもの樹」にしました。《こどもの樹》を自分でスケッチした顔から作る子どもや、苦戦しながらもだんだん要領が分かり夢中になっている子どもなど、さまざまな様子がありました。全員の作品が飾られた「こどもの樹」の鑑賞会では、保護者の方も嬉しそうに写真を撮っていました。
場 所	展示室、創作アトリエ
料 金	300円(要観覧料)
参加人数	10組(子ども10名、大人9名) (先着順/電話受付)



・はいはい&よちよち美術館ツアー

日 時	2021年 ①4月21日(水) ②5月12日(水) ③6月6日(水)		
	④9月8日(水) ⑤10月20日(水) ⑥11月10日(水) 各10:30~11:30		
内 容	親子と一緒に鑑賞を楽しむことで、親子のコミュニケーションを図ったり、小さな子でも無理なく美術館の雰囲気を味わってもらったりすることができる鑑賞会を行いました。抱っこで回るグループ、歩きながら回るグループとそれぞれ分かれて行いました。		
場 所	ガイダンスホール、常設展示室		
対 象	3か月、0~3才の幼児とご家族 先着5組		
料 金	要観覧料		
参加人数	①2組 (子ども2名、大人2名) (先着順/電話受付)	②5組 (子ども5名、大人8名)	〃
	③4組 (子ども4名、大人6名)	〃	④1組 (子ども1名、大人2名)
	⑤3組 (子ども3名、大人5名)	〃	⑥4組 (子ども4名、大人8名)



・自分に挑む!

日 時	2021年6月19日(土) 13:30~15:30	
内 容	1980年、太郎さんは時間制限の中、《挑む》の作品を公開制作しました。大きな絵筆で、躍動感あふれるタッチの大作を完成させました。大きな筆で大きな紙に、体を大きく使って作品を制作しました。雨天のため、室内での制作でしたが、模造紙大の紙に刷毛などを使って大きのびのび描く姿が見られました。鑑賞会も行い、皆満足気でした。完成した作品は、ギャラリーに展示をしました。	
場 所	企画展示室、創作アトリエ	
対 象	小学生以上	
料 金	500円 (要観覧料)	
参加人数	10組 (子ども9名、大人11名) (先着順/電話受付)	



・美術館裏探検

日 時	2021年8月8日(日) ①11:00~11:40 ②13:30~14:10	
内 容	普段見ることの出来ないバックヤードの一部を公開する子ども限定のイベントを行いました。第一収蔵庫、第二収蔵庫、大型エレベーター、搬入口、キャットウォークなどを探検しながら、美術館がどのように作品を保管し展示しているのかについて話しました。普段は入れない場所にキョロキョロ、ワクワクしている子ども達の様子が見られました。	
場 所	展示室、バックヤード	
対 象	小・中学生	
料 金	無料	
参加人数	①8名 ②9名 (先着順/電話受付)	



・中学生「夏休みの宿題手伝います」ツアー

日 時 2021年 ①7月27日(火) ②28日(水) ③8月19日(木) 各10:00~11:00

内 容 今年で4年目となる中学生向けの美術館見学ツアー。中学校では夏休みの課題として美術館に行き感想をかいたり、新聞をつくったりする学校が多く、美術館スタッフによるツアーを行うようになりました。今年度は、美術館の役割にも触れ、作品だけでなく美術館自体にも興味・関心を向けることができるようなワークシートを作成しました。友達や家族と一緒に参加し、作品の話しながら鑑賞する様子や、一人で真剣に作品を鑑賞する様子が見られました。



場 所 常設展示室、企画展示室

対 象 中学生

料 金 無料

参加人数 ①8名 ②9名 ③8名 (当日受付)

・オリジナルタイトルをつけてみよう

日 時 2021年7月8日(木)~10月11日(月) 9:30~17:00

内 容 常設展「太郎さんの心の中を楽しもう!」では、《傷ましき腕》《重工業》のキャプションに題名を記載せずに、来館者にオリジナルのタイトルをつけてもらい、展示室出口に考えたタイトルを記入し掲示してもらいました。どんなタイトルにするのか話し合う様子や掲示しているタイトルを楽しむ様子など、自分とは違った見方を知ってもらうきっかけになりました。



場 所 ギャラリースペース

参加人数 《傷ましき腕》 約529名 《重工業》 約546名

・ワークシート配布「見るみるTARO」

日 時 2021年7月17日(土)~9月10日(金) 9:30~17:00

内 容 常設展会期中、オリジナルタイトルを考えたり、塗り絵をしたりすることで、作品を深く感じ、みるみる太郎さんに近づくワークシートを配布しました。太郎さんは、「絵を見ることは創ることもある」と語っており、作品から受けた印象をもとにイメージーションをふくらませて鑑賞するきっかけになる内容となっており、家族連れや友達同士で楽しそうに記入していました。

場 所 常設展示室入口横

料 金 無料

配布枚数 1920枚



・太郎さんにお手紙を書こう

- 日 時 2021年7月17日(土)～8月22日(日) 9:30～17:00
- 内 容 太郎さんにむけて手紙を書く来館者参加型イベントを行いました。展示室出口近くにコーナーを設置し、太郎さんや作品に向けた思いを書いてもらいました。子どもの無邪気な太郎さんへの思い“太郎さんに会ってみたかった”“太郎さん大好き”や、大人の方からは“一瞬一瞬を生きる、そんな勇気がわいてきました”など素敵なお手紙が届きました。
- 場 所 ギャラリースペース
- お便り数 210通



・キッズ TARO 展連動企画 “よろこび” ってどんな色・形!? 探そう! 描こう!

- 日 時 2021年9月18日(土)13:00～15:30
- 内 容 第11回キッズ TARO 展に展示する作品を美術館で制作しました。今回のテーマは“よろこび”です。美術館スタッフと感情あふれる太郎作品から“よろこび”を探し描きとめながら鑑賞しました。また、いろいろな画材の使い方をレクチャーし、画材による表現の違いを知ってもらいました。これまで使ったことのない画材を積極的に用い、“よろこび”あふれる作品を制作していました。
- 場 所 常設展示室、創作アトリエ、ギャラリースペース
- 料 金 300円
- 対 象 中学生以下
- 参加人数 14名(うち同伴6名)(先着順/電話受付)



・やさしい TARO スケッチ倶楽部

- 日 時 2021年10月9日(土)10:00～11:30
- 内 容 常設展示室で気軽な作品スケッチを描くイベントを行いました。最後には描いたものを見ながら、スタッフや参加者同士“TARO 作品から感じたこと”や“どういう感情になったか”等を楽しくお話ししました。参加者のほとんどがスケッチ初心者でしたが、作品を描いているときには、自信を持って堂々と、集中して取り組んでいました。
- 場 所 ガイダンスホール、常設展示室
- 料 金 無料(要観覧料)
- 対 象 中学生以上
- 参加人数 6名(中学生2名、大人4名)(先着順/電話受付)



・第11回キッズ TARO 展—テーマ「よろこび」—

日 時 2021年11月6日(土)～12月5日(日) 9:30～17:00

内 容 岡本太郎は自由な発想で、独創的な作品を作り続けました。その精神を受け継ぎ、子どもの無邪気で自由な表現の場として、11回目となるキッズ TARO 展を開催しました。今年のテーマは「よろこび」で、幅広い作品が集まりました。

場 所 ギャラリースペース

対 象 中学生以下

応募者数 65名



・TARO 風オリジナル鳥をつくろう

日 時 2021年11月28日(日) 13:30～15:30

内 容 岡本太郎の作品の特徴を活かしながら、コラージュ（紙を切ったり、貼ったり）した色紙を使って、ペーパークラフトの鳥を作りました。参加者は、付き添いの保護者と一緒に黙々と取り組み、最後には個性豊かな鳥の作品を生み出していました。

場 所 常設展示室、創作アトリエ

料 金 300円

対 象 小学生

参加人数 15名（うち同伴7名）（先着順/電話受付）



・粘土で半立体（レリーフ）をこねこね描こう！

日 時 2021年12月12日(日) 13:30～15:30

内 容 岡本太郎は、旧東京都庁舎の壁にあった《日の壁》など多くのレリーフを手がけました。レリーフは、壁から絵が飛び出し半立体になっており、絵具で描いた絵画とは違った存在感をもっています。ワークショップでは、太郎さんのレリーフ作品を鑑賞した後、紙粘土に色を混ぜ合わせ、浮き上がる絵を描きました。

場 所 企画展示室、創作アトリエ

料 金 500円（要観覧料）

対 象 小学生～大人

参加人数 8組（子ども8名、大人6名）（先着順/電話受付）



・文化財ポスター展

日 時 2022年1月29日(土)～2月13日(日) 9:30～17:00
内 容 神奈川県教育委員会で行われる、文化財保護ポスター展の作品から、川崎市内の中学生による作品を美術館のギャラリースペースに展示し、来館者にみていただきました。
場 所 ギャラリースペース
展示点数 26点



・TARO Birthday Concert

日 時 2022年2月27日(日) 14:00～14:45
内 容 岡本太郎は1911年2月26日生まれです。111歳のバースデーを祝って、コンサートを開催しました。今年は、オルガン奏者の山口綾規氏によるプログラムとなりました。
場 所 ギャラリースペース
出 演 山口綾規 (オルガン)
対 象 どなたでも (事前予約制・電話受付・先着順)
料 金 無料 (椅子席35席は要観覧券)
参加人数 椅子席35名 (先着順電話受付)、立ち見40名



・おしゃれな美術館ポスターで作ろう！マイ封筒☆

日 時 2022年3月 ①19日(土) ②20日(日) 各13:30～15:30
内 容 美術館のポスターやチラシを使い封筒づくりを行いました。手紙、写真入れ、メッセージカード入れなど、自由に作成しました。紙を型紙に沿ってはさみで切り取り、折ってのり付けすれば出来上がりです。自宅でも作りたいと封筒の型紙を持ち帰る方が多くいらっしゃいました。
場 所 ギャラリースペース
料 金 無料
対 象 小学生以上 (保護者同伴の幼児も可)
参加人数 ①31名 ②44名 (当日受付)



どこでも TARO アトリエ

「どこでも TARO アトリエ」は、2020年4月に出された緊急事態宣言下で、多くの方が自宅で過ごされている時期に、美術館へ行けなくても、自宅で太郎さんの作品を楽しんでもらえるように、はじめたコンテンツです。これまで好評だったワークショップなどから、大人でも子どもでも、気軽に楽しめるアイデアをご紹介します。緊急事態宣言は解除後もまだ遠方にお住まいの方は、来館しにくいいため、開館後もしばらくの間、「どこでも TARO アトリエ」の公開・更新を続けました。

・第20弾 テープで描こうこどもの樹

「人間はその数だけ、それぞれ、その姿のまま、誇らしくなければならぬ」と岡本太郎が述べたように、子どもたち一人ひとりがユニークな個性を発揮し、のびのびと自由に生きる姿を《こどもの樹》は表現しています。今回は、画用紙で作ったテープを使い接着することで表現し、その作成方法を公開しました。



・第21弾 TARO 遊ぶ字

岡本太郎は、字と絵の表現はもともとと同じものだと考えていました。無心楽しんで字を書いていると自然と絵になってしまうと言っています。そんな遊ぶ字を描く手順を2通り公開しました。



・第22弾 岡本太郎と過ごす2022 ～TARO カレンダーを作ろう～

当館では、大学との連携で専修大学のインターンシップを受け入れており、毎年、学生たちによるワークショップを行っています。今年度は、太郎さんの写真や作品、名言を散りばめたカレンダーが制作できるオンラインコンテンツを考案いただき、公開しました。



・第23弾 TARO さんの手紙『封筒を作ろう！』

太郎さんはフランス留学中に両親と手紙のやり取りをしていました。そこで、今回は手紙を入れる封筒を作ります。大きさを変えるもよし、好きな絵を描くもよし、楽しい封筒を手作りします。第10弾の版画や第13弾の切り絵なども利用して作成できます。角封筒の型紙を用意し制作方法を公開しました。



団体利用実績

団体利用とは、学校や教育機関による団体での鑑賞学習や美術館を利用したグループ学習を受け入れるものです。鑑賞プログラムについては、利用する教育機関と美術館職員が、対象年齢や学習目的に応じ学事前に打ち合わせを行い作成しています。

団体の受け入れは、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため人数を減らし行いました。実際に訪れた幼児、児童、生徒には、検温、消毒、マスクの着用、また、大声で会話をしないようお願いし、館内で密集することがないように対策を行いながら時間を短縮して案内をしました。

具体的には、1回70人以下の児童たちを更に2～3グループに分け、時間差をつけて回るようにしました。そして、館外でのガイダンスを長めにとり、館内の案内はワークシート等を利用し30分程度とし、館外館内合わせて45分ほどの鑑賞としました。中学生以上は自由見学を採用するところが多く、その場合は常設展示室から入るグループ、企画展示室から入るグループに分け密集しないように案内を行いました。

1度に見学できる人数を制限するため、1校に対し数回に分けて案内することもありました。コロナ禍前なら受け入れることが出来た団体も、当日の予約状況によってはお断りすることも多かったです。

<令和3年度 学校等受入数>

月	小学校		中学校		高校・大学		特別支援学校等		幼稚園・保育園		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	0	0	0	0	1	41	0	0	0	0	5	61	6	102
5	1	90	0	0	1	124	0	0	0	0	3	41	5	255
6	4	332	0	0	2	55	2	18	2	176	2	28	12	609
7	2	361	2	19	3	40	0	0	0	0	1	39	8	459
8	1	16	3	57	3	10	1	10	1	23	0	0	6	116
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15	2	15
10	8	894	1	79	1	27	0	0	0	0	4	40	14	1,040
11	10	1,062	2	200	0	0	0	0	1	31	2	28	15	1,321
12	14	1,303	0	0	1	17	0	0	0	0	1	14	16	1,334
1	4	272	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	5	280
2	1	159	0	0	0	0	2	35	0	0	1	75	4	269
3	4	372	3	164	1	53	0	0	0	0	4	96	12	685
合計	49	4,861	11	519	13	367	5	63	4	230	26	445	108	6,485

学校プログラム

<職場体験・インターンシッププログラム>

体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動です。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、看視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各1時間程度体験します。

今年度受入校数 高校 5校



<出張授業・鑑賞授業>

美術館から遠い、校外活動は時間がかかる等、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めています。

※今年度については新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送りました。



<出張授業・職業講話>

令和2年度からコロナ禍の特例で職業体験が出来なかった学校に出向き職業講話を行っています。美術館施設の目的や内容を広く学んでもらうために、美術館で働く人達の、それぞれの仕事内容について映像を通しお話ししています。

※今年度については新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送りました。



<教員向け出張授業>

岡本太郎や作品について、貸出教材を利用した授業のレクチャーを、小学校・中学校の先生方に行い、岡本太郎の啓蒙と、美術館の教材を使用したアート活動を周知しています。

<実施団体> 千葉県流山市の教育研究会造形部会



< 学校・地域連携事業 >

- ・ 小学校教育研究大会：図画工作科 発表協力 / ビデオ作製

今回は鑑賞をテーマとした発表で、当館の学校団体見学の様子をビデオにまとめ、教材の提供など全面的に協力をしました。



- ・ 小学校図画工作科研究会実技研修会 協力

川崎市小学校図画工作科研究会では、昨年度は行われなかった夏季実技研修会を開催。鑑賞部会では岡本太郎美術館のホームページにある「どこでも TARO アトリエ」に掲載しているいくつかの内容をブースに分かれ行いました。

- ・ 中学校連合文化祭 美術科部会 協力

今年度は高津・宮前地区の13校の生徒65名が参加し、川崎市中学校連合文化祭が開催されました。常設展「生誕110年ベラボーナ岡本太郎」、企画展「戦後デザイン運動の原点」を鑑賞しました。熱心に作品を鑑賞する姿が見られました。

教材開発と利用

<映像資料>

「岡本太郎の芸術」

時 間：20分

内 容：岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作フィールドワーク
など様々な活動の記録を分かりやすく解説

*テロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



「マナーDVD」

内 容：小学生以下の子ども向けに美術館でのマナーをまとめたもの



<作品プリント>

「代表作品」



【パウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

セット内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 14 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 19 作品

レリーフ：《天に舞う》全 1 作品

写 真：《縄文土器》他 全 2 作品

* 個々の作品についての解説書付き

「遊ぶ字」



【パウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

セット内容

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》

《喜》《音》《若》《海》他 全 40 作品

<大型作品プリント>



貸出作品：《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》《夜》《空間》全 5 作品

< 作品カード (アートカード) >

美術館見学の事前授業で使用するなど、年間70件近くの利用があり
前回のリニューアルより5年経過したため、破損や衛生面を考慮し、
使用者が気持ちよく使えるようにケースを新しいものとした。



【パウチ加工 24 作品 12.0×18.0】

セット内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全7作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全10作品

版 画：《眼》《夢》全2作品レリーフ：《マスク》全1作品

インダストリアル：《顔のグラス》他 全3作品

< 子ども向け自由鑑賞ワークシート >

学校団体向けの鑑賞コースに2018年度よりワークシートを活用したコースを加え、普及企画スタッフが目的や展示内容に合わせて各種ワークシートを作成しています。美術館での学習だけでなく、学校授業でも使用していただけます。

・“遊ぶ！”ガイドマップ

主な作品のカラー画像があります。



・歩いて 感じて 書き留めるマップ

鑑賞のきっかけになる質問やメモスペースが多くある内容。各展覧会に合わせた内容。



美術館教育研究会

日 時 2022年3月3日(木) 15:00～16:30

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

- 議 題
- (1) 令和3年度の普及事業報告
 - 学校対応事業
 - 学校・地域連携事業
 - イベント・ワークショップ事業
 - (2) 令和4年度の教育普及事業予定
 - 学校団体利用について
 - ・学校団体鑑賞プログラムの内容
 - ・鑑賞ワークシートの活用
 - ・貸し出し教材
 - 展覧会、イベント予定
 - (3) その他



出席者 小・中学校：澁谷加寿子（南原小学校校長）、中臣信丈（川崎小学校校長）、丸尾明彦（古川小学校校長）、藤井敬三（向丘小学校教諭）、大高修（平小学校教諭）、眞砂野礼（川中島小学校教諭）北潟美波（枳形中学校教諭）、坂井祐子（稲田中学校教諭）

川崎市市民ミュージアム：奈良本真紀、杉浦央子

美術館：土方明司（岡本太郎美術館館長）、古内 久（岡本太郎美術館副館長）、佐藤玲子（課長補佐）、那須川慧（職員）、尾崎美幸（職員）、千村曜子（職員）、鈴木亜優（職員）

協力イベント

川崎市経済労働局観光プロモーション推進課によるマイクロツーリズム事業の一つとして、生田緑地の施設を利用した観光ツアーが実施されました。

- ・早春は生田緑地でエンジョイ！今、川崎の北部エリアがおもしろい！
「川崎市岡本太郎美術館・ナイトミュージアム体験と
かわさき宙と緑の科学館・プラネタリウム鑑賞」

日 時	2022年2月26日(土)13:00～20:20
内 容	かわさき宙と緑の科学館内見学後、プラネタリウム鑑賞。生田緑地を散策後、閉館後の川崎市岡本太郎美術館において学芸員による解説を聞きながら、展示室・バックヤードを回ります。 当初はバスツアーとして計画されましたが、当日は生田緑地に集合してのツアーに変更になりました。 ツアー参加者にはミュージアムショップの500円券が配布され、展示室を観覧後ショップでの買い物も楽しめました。
対 象	川崎市在住の小学生以上（中学生以下は保護者同伴）
料 金	6,480円
参加人数	14名
主 催	名鉄観光、川崎市観光協会、川崎市



- ・くるくるかわさき～川崎オンラインツアー編
「独占！夜の美術館ツアー」

日 時	2022年3月6日(日) 17:30～19:00
内 容	館内をインタビューアと学芸員が解説をしながら展示室を案内し、参加者はその映像をZoomにより視聴。チャット機能を活用し随時質問や感想などを発信し交流することができるツアーです。 美術館としては、はじめてのオンラインツアーになりました。
対 象	どなたでも
料 金	220円（美術館分） ※総料金は、ツアー終了後に参加者が自身で参加費を決めることができる「あと値決め」により決定
参加人数	60名
主 催	HIS、川崎市観光協会、川崎市



6. 指定管理者による自主事業

■ イベント・ワークショップ ■

< 美術館でフラワーレッスン Vol.10 「春のアレンジ」 >

日 時 2021年4月3日(土)①10:30~12:00 ②13:30~15:00

内 容 本教室は本来ひな祭りテーマで昨年度2月27日開催予定でしたが、緊急事態宣言とその延期により申込受付後2度の延期を経て開催しました。定員計20名中14名の方が申し込み後2度の延期を経ても参加下さり行動制限下のアレンジ教室への期待を感じました。お詫びと感謝も含め参加費を値下げして開催しました。やっと楽しみにしていた教室が開催されるということで、参加者皆さん大変楽しそうでした。



場 所 創作アトリエ、常設展示室

対 象 どなたでも (小学3年生以下は保護者同伴)

講 師 重田章子 (日比谷花壇認定講師)

料 金 1,800円 (入館外イベント)

参加人数 ①8名 (うち同伴1名) ②9名 (うち同伴2名) ※定員各10名 事前電話受付

< 美術館でフラワーレッスン Vol.11 「Bijoux rose〜母の日のメリアローズアレンジ〜」 >

日 時 2021年5月8日(土)①10:30~12:00 ②13:30~15:00

内 容 1輪のバラのプリザーブドフラワーに花びらをつけていき大輪のバラを作る教室です。本来昨年の母の日企画として資材を準備したもので、緊急事態宣言により1年越しの開催となったものです。コロナ禍のストレスを創作に没頭することで発散頂き、母子の繋がりの暖かさを花に込め表現する機会として大変意義のある開催だったと思います。



場 所 創作アトリエ、常設展示室

対 象 どなたでも (小学3年生以下は保護者同伴)

講 師 重田章子 (日比谷花壇認定講師)

料 金 2,300円 (入館外イベント)

参加人数 ①12名 (うち同伴2名) ②7名 (うち同伴1名) ※定員各10名 事前電話受付

< かわいいコケ玉をつくらう！ >

日 時 2021年6月12日(土)①10:30~11:30 ②14:30~15:30

内 容 毎年好評のコケ玉教室を今回も母の塔下で開催しました。観葉植物で植え込み目玉をつけた現代風のコケ玉教室で、今回も美術館屋上の苔の管理者に参加・説明を頂き、美術館の緑化努力への関心も深めました。親子参加が多く、長く続く行動制限の中、屋外での泥こね作業と緑のアート作りは本当に皆さん楽しそうでした。



場 所 母の塔下（屋外） ※荒天中止
対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
講 師 小山裕行（日比谷花壇）
料 金 1,500円
参加人数 ①21名（うち同伴6名） ②23名（うち同伴8名） 事前電話受付

<美術館でフラワーレッスン Vol.12「サマーサンドアレンジ」>

日 時 2021年7月3日(土)①10:30~12:00 ②13:30~15:00
内 容 新型コロナウイルス感染者の増減による行動制限の実施解除の間を縫い開催しました。海のイメージでガラス器に色砂をデザインして花をあしらうデザインに、参加の皆さんはのびのび楽しめる夏の再来の願いを込めて作品制作に没頭されていました。

場 所 創作アトリエ、常設展示室
対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）
料 金 2,300円（入館外イベント）
参加人数 ①11名（うち同伴2名） ②12名（うち同伴2名） ※定員各10名 事前電話受付



<美術館でフラワーレッスン Vol.13「タルト皿を使ったハロウィンアレンジ」>

日 時 2021年10月2日(土)①10:30~12:00 ②13:30~15:00
内 容 秋の配色のデザインのプリザーブドフラワーをタルト皿の器に配置した壁掛け型の作品を作りました。オリンピック後の新型コロナウイルス感染再拡大で行動制限がかかりハロウィンの消沈ムードの中での開催でしたが、秋のイメージが好評で参加の方は大満足の様子でした。

場 所 創作アトリエ、常設展示室
対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）
料 金 2,500円（入館外イベント）
参加人数 ①7名（うち同伴2名） ②5名 ※定員各10名 事前電話受付



<美術館でフラワーレッスン Vol.14「クリスマスのリースアレンジ」>

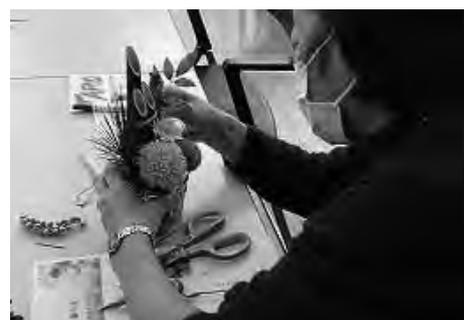
日 時 2021年11月20日(土) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00
内 容 要望の多かった生の素材を使ったリース教室を開催しました。親子での参加が多く、なかなか手ごたえのある内容だったため、会場内に漂うヒバの爽やかな香りの中、親子でリース制作に奮闘し、楽しそうにオーナメントを飾られていました。



場 所 創作アトリエ、常設展示室
 対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
 講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）
 料 金 2,500円（入館外イベント）
 参加人数 ①17名（うち同伴8名） ②18名（うち同伴7名） ※定員各10名 事前電話受付

<美術館でフラワーレッスン Vol.15「新春の華やぎ～和モダンなお正月アレンジ」>

日 時 2021年12月11日（土）①10:30～12:00 ②13:30～15:00
 内 容 同フラワー教室企画でも人気の新春向けアレンジ教室を開催しました。ミニ門松を器に仕込み、艶やかな色合いのプリザーブドフラワーと水引をつけて華やかなイメージに仕上げました。今年も我慢の多い年になり、新年を迎える飾り作りに参加者の制作への思いもひとしおだったのではと思います。



場 所 創作アトリエ、常設展示室
 対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
 講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）
 料 金 2,500円（入館外イベント）
 参加人数 ①16名（うち同伴4名） ②11名（うち同伴3名） ※定員各10名 事前電話受付

<TARO 凧をつくろう！>

日 時 2022年1月15日（土）①10:30～12:00 ②13:30～15:00
 内 容 毎年好評の和凧作りを今年も開催しました。川崎市から借りた岡本太郎アートカードを見本に凧絵を描いて、保護者が凧に仕立てる段取りで今回も大変盛り上がりしました。思い思いの絵で作った凧は風の悪い母の塔広場でもなかなか良く飛び、親子で夢中になって走り回って楽しんでいました。



場 所 創作アトリエ
 対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
 講 師 小山裕行（日比谷花壇）
 料 金 500円（入館外イベント）
 参加人数 ①22名（うち同伴12名） ②18名（うち同伴8名） ※定員各10名 事前電話受付

<美術館でフラワーレッスン Vol.16「陽だまりカラーのバスケットアレンジ」>

日 時 2022年3月12日（土）①10:30～12:00 ②13:30～15:00
 内 容 フラワーアレンジでは定番のバスケットアレンジを作りました。今回は比較的テクニックを要しないためのびのび作ることができ、参加の方は春らしい花材のプリザーブドフラワーやフェイクフラワーを、春のイメージを思い浮かべながら楽しそうに教室を満喫されていました。



場 所 創作アトリエ、常設展示室
 対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
 講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）
 料 金 2,500円（入館外イベント）
 参加人数 ①10名 ②11名（うち同伴1名） ※定員各10名 事前電話受付

<花ひらくジャンボフラワーをつくろう！>

日 時 2022年3月26日（土）①10:30～15:00
 内 容 生田緑地の3施設とJVで8月に開催するサマーミュージアムが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になり、行動制限が解除された3月末に試行で中規模の「スプリングミュージアム」を開催し、その催事内で大きなペーパークラフトの花を作る教室を実施しました。花の色と形を選べ、参加の親子は母の塔や緑地で大きな自作の花と記念撮影も楽しみました。



場 所 ガイダンスホール
 対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
 講 師 山内夏美（日比谷花壇）
 料 金 400円（入館外イベント）
 参加人数 68名（うち同伴42名） 当日受付

<西口キッチンカー>

日 時 2022年3月27日（日）10:00～15:00
 内 容 コロナ禍で公園緑地にリフレッシュを求める方が増え、西口広場で憩う方も増加したため、西口賑いの創出としてキッチンカーの試験出店を行いました。結果、美術館や緑地利用者に大変喜ばれ、これからの桜やゴールデンウィークの季節に向け継続的に出店していくことにしました。



場 所 母の塔付近
 出店品目 ホットドッグ、麴唐揚げ弁当 2店舗
 販売数 146食

川崎市岡本太郎美術館は、2018年4月より「生田緑地共同事業体」（構成企業：(株)日比谷花壇、(株)日比谷アメニス、東急プロパティマネジメント(株)）が指定管理者業務を行っています。

7. 川崎市文化芸術振興会議施設部会

川崎市文化芸術振興会議施設部会

第1回

日 時：令和3年9月14日（火）14:00～16:00

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原純（美術評論家）
委員 杉浦幸子（武蔵野美術大学芸術文化学科教授）
藤嶋俊會（美術評論家）
室井絵里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

・令和3年度事業経過・予定について

1 展覧会事業

(1) 企画展

「挑む 岡本太郎」展

「太郎写真曼陀羅」展

「戦後デザイン運動の原点—デザインコミッティーの人々とその軌跡」展

「第25回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展

(2) 常設展

2 資料収集・整理、調査研究

3 作品の保存・修復、貸出

4 普及企画

5 広報活動

6 施設・設備の整備

7 その他：予算・決算、統計データ等について

(1) 予算・決算資料

(2) 統計データ

第2回

日 時：令和4年3月16日（水）14:00～16:00

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原純（美術評論家）
委員 杉浦幸子（武蔵野美術大学芸術文化学科教授）
藤嶋俊會（美術評論家）
室井絵里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

・令和3年度事業経過・報告について

1 展覧会事業

(1) 企画展

「挑む 岡本太郎」展

「太郎写真曼陀羅」展

「戦後デザイン運動の原点—デザインコミッティーの人々とその軌跡」展

「第25回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展

(2) 常設展

2 資料収集・整理、調査研究

3 作品の保存・修復、貸出

4 普及企画

5 広報活動

6 施設・設備の整備

7 その他：予算・決算、統計データ等について

(1) 予算・決算資料

(2) 統計データ

・令和4年度事業予定について

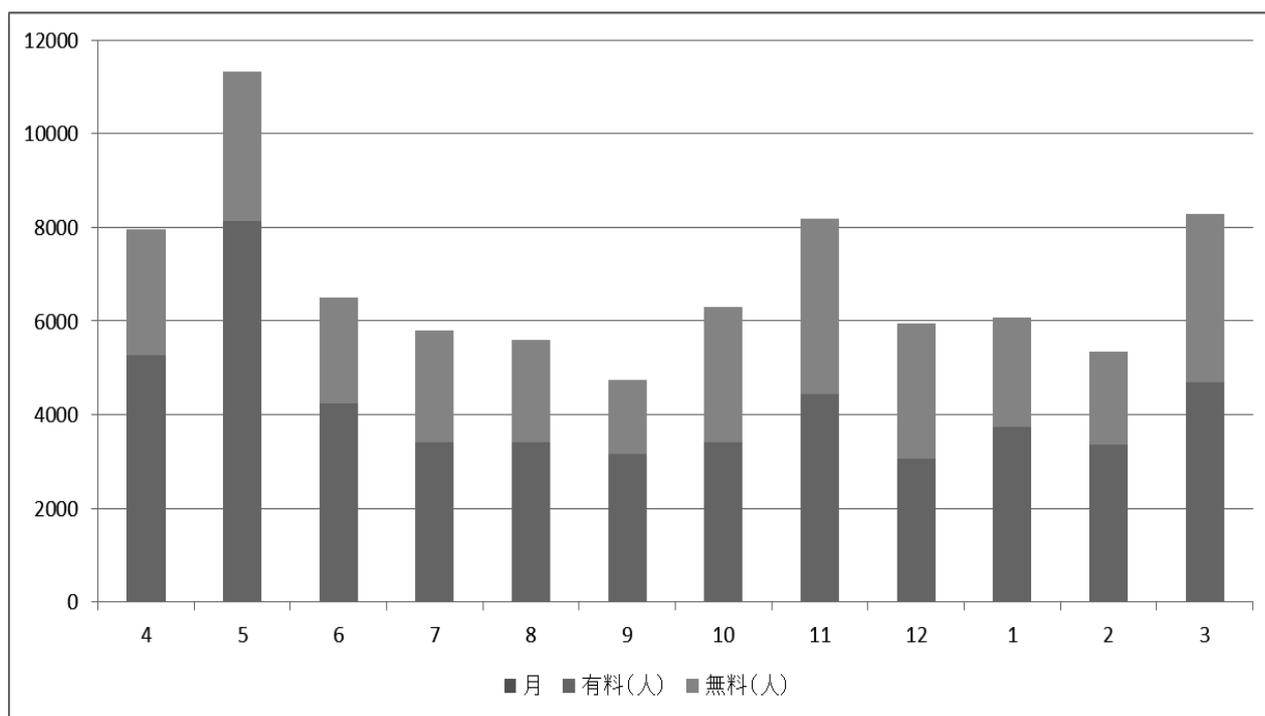
・令和3年度事業評価について

II. 資料

1. 入館者数統計

■令和3年度 月別入館者数■

月	開館日数	一日平均 (人)	有料 (人)	無料 (人)	合計 (人)
4	24	331	5,262	2,682	7,944
5	25	453	8,134	3,184	11,318
6	26	250	4,240	2,251	6,491
7	25	231	3,408	2,378	5,786
8	26	215	3,414	2,180	5,594
9	25	190	3,159	1,579	4,738
10	25	251	3,396	2,888	6,284
11	23	355	4,429	3,734	8,163
12	24	248	3,043	2,900	5,943
1	22	276	3,732	2,333	6,065
2	23	232	3,359	1,987	5,346
3	26	318	4,679	3,593	8,272
合計	294	279	50,255	31,689	81,944



■年度別入館者数■

	開館日数	有料入館者	無料入館者	合計	一日平均
平成11年度	124	43,420	29,593	73,013	586
平成12年度	292	49,532	31,837	81,369	279
平成13年度	298	36,363	34,613	70,976	238
平成14年度	298	36,466	38,259	74,725	247
平成15年度	293	36,199	32,296	68,495	234
平成16年度	287	34,607	34,183	68,790	240
平成17年度	293	38,682	34,382	73,064	249
平成18年度	296	58,619	56,197	114,816	388
平成19年度	296	43,061	27,360	70,421	237
平成20年度	294	42,545	29,443	71,988	245
平成21年度	293	44,541	30,906	75,447	257
平成22年度	284	38,422	31,611	70,033	247
平成23年度	287	50,053	37,989	88,042	307
平成24年度	284	45,777	37,260	83,037	292
平成25年度	298	36,322	33,862	70,184	236
平成26年度	296	34,370	38,800	73,170	247
平成27年度	296	35,253	37,330	72,583	245
平成28年度	294	36,417	38,922	75,339	256
平成29年度	288	33,389	40,129	73,518	255
平成30年度	299	40,277	37,685	77,962	261
平成31/ 令和元年度	289	34,933	34,204	69,137	239
令和2年度	256	35,154	23,895	59,049	231
令和3年度	294	50,255	31,689	81,944	279
合計	6,529	934,657	852,700	1,787,357	256

※岡本太郎美術館の開館日：1999（平成11）年10月30日

2. 美術館事業 予算・決算概要

予算概要

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳出	非常勤職員経費	13,467	
	報酬	11,065	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	給料	2,070	再任用職員
	職員手当等	332	再任用職員
	学芸業務事業費	49,610	
	報酬	2,950	会計年度任用職員（旧臨職）
	報償費	1,788	資料収集・評価審査謝礼 企画展関連イベント協力謝礼 教育普及関連イベント協力謝礼
	旅費	504	企画展等調査、作品集荷返却
	需用費	1,707	図書・雑誌、展示上映用消耗品 情報事業用消耗品、教育普及用消耗品 燃料費、食糧費
	役務費	1	公園施設設置許可手数料
	委託料	22,750	展示上映事業（企画展、常設展） 情報事業、教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（岡本かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	8,123	OA機器賃借料、作品賃借料
	備品購入費	2,226	美術作品・資料、庁用備品、備品図書
	負担金補助及び交付金	9,561	全国美術館会議負担金 神奈川県博物館協会負担金 美術館連絡協議会企画展負担金

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳出	管理運営事業費	115,211	
	委託料	115,211	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	4,950	
	報酬	1,559	会計年度任用職員（旧臨職）
	需用費	408	資料デジタル化事業用消耗品
	委託料	2,983	資料デジタル化事業委託
	美術館維持補修事業費	12,508	
	委託料	9,730	空気熱源ヒートポンプ設備整備、温水一次ポンプフート弁交換、壁面整備
	工事請負費	2,778	シャッター補修、壁掛型電気湯沸器補修、池循環ポンプほか補修
	岡本太郎作品補修事業費	5,408	
委託料	5,408	絵画《面》、《プロフィール》、《駄々っ子》、《遭遇》、《眼の立像》、《呼ぶ》、《踊る人》、《風神》、彫刻《母の塔》	
計		201,154	

歳入	使用料	38,988	観覧料
	その他使用料	1,289	カフェテリア使用料、資料等特別利用料
	雑入	10,248	図録等売上、イベント参加料、各種助成金
計		50,525	

決算概要

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳出	非常勤職員経費	13,169	
	報酬	10,769	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	給料	2,069	再任用職員
	職員手当等	331	再任用職員
	学芸業務事業費	48,124	
	報酬	2,606	会計年度任用職員（旧臨職）
	報償費	1,330	資料収集・評価審査謝礼 企画展関連イベント協力謝礼 教育普及関連イベント協力謝礼
	旅費	449	企画展等調査、作品集荷返却
	需用費	1,529	図書・雑誌、展示上映用消耗品 情報事業用消耗品、教育普及用消耗品 燃料費、食糧費
	役務費	0	公園施設設置許可手数料
	委託料	22,730	展示上映事業（企画展、常設展） 情報事業、教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（岡本かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	7,938	OA機器賃借料、作品賃借料
	備品購入費	1,984	美術作品・資料、庁用備品、備品図書
	負担金補助及び交付金	9,558	全国美術館会議負担金 神奈川県博物館協会負担金 美術館連絡協議会企画展負担金

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳出	管理運営事業費	115,211	
	委託料	115,211	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	4,599	
	報酬	1,363	会計年度任用職員（旧臨職）
	需用費	366	資料デジタル化事業用消耗品
	委託料	2,870	資料デジタル化事業委託
	美術館維持補修事業費	13,243	
	委託料	9,725	空気熱源ヒートポンプ設備整備、温水一次ポンプフート弁交換、壁面整備
	工事請負費	3,518	シャッター補修、壁掛型電気湯沸器補修、池循環ポンプほか補修
	岡本太郎作品補修事業費	5,400	
委託料	5,400	絵画《面》、《プロフィール》、《駄々っ子》、《遭遇》、《眼の立像》、《呼ぶ》、《踊る人》、《風神》、彫刻《母の塔》	
計		199,746	

歳入	使用料	36,857	観覧料
	その他使用料	1,263	カフェテリア使用料、資料等特別利用料
	雑入	3,451	図録等売上、イベント参加料、各種助成金
計		41,571	

III. 組織名簿 (令和3年度)

1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会委員名簿 (任期2021年10月1日～2022年9月30日)

部会長	勅使河原純 (美術評論家)
委員	杉浦幸子 (武蔵野美術大学芸術文化学科教授)
委員	藤嶋俊會 (美術評論家 (文化芸術振興会議委員))
委員	光田由里 (多摩美術大学美術研究科美術専攻教授)
委員	室井絵里 (インディペンデントキュレーター)

2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

館長	土方明司	再任用職員 (普及企画)	尾崎美幸
副館長	古内久	臨時的任用職員 (学芸)	篠原優
課長補佐 (普及企画)	佐藤玲子	臨時的任用職員 (学芸)	冨永ももこ
担当係長 (管理)	山崎千加子	会計年度任用職員 (普及企画)	鈴木亜優
担当係長 (学芸)	片岡香	会計年度任用職員 (普及企画)	千村曜子
職員 (管理)	那須川慧	会計年度任用職員 (学芸)	出口智佳子
職員 (学芸)	佐藤明由美		

IV. 川崎市岡本太郎美術館概要

1. 美術館の目的

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎氏から寄贈された美術作品及び資料をコレクションの中心として岡本太郎芸術の背景となった両親のかの子、一平の芸術、並びに近現代美術についての収集と展示を主な事業としています。また新しい芸術を創造するための収集、展示などを行い、市民の利用に供するものとします。

更には、単なる美術、芸術鑑賞の場にとどまることなく、市民の美術、芸術に関する創造活動を促進し、市民の芸術及び文化の発展に寄与することを目的としています。

2. 美術館事業内容

収集・保存

岡本太郎、一平、かの子に関する作品、資料、また近現代の美術作品を収集し、収蔵庫での燻蒸や必要に応じて資料の修復を行うなど、作品の保存管理を行います。

調査研究

- ・ 岡本太郎、一平、かの子作品とその周辺の美術、国内外の現代美術に関する調査と研究。
- ・ 美術館における展示方法や作品・資料の修復、保存の研究。
- ・ 美術館の普及活動における調査研究。

展 示

(常設展示)

常設展示室では、岡本太郎の作品の紹介とその背景となる一平、かの子の作品、資料の展示替えを年4回行います。

(企画展示)

企画展示室では、岡本太郎芸術に関連するテーマ展、新人作家展、子供向け展覧会など幅広いジャンルに渡る企画展を年4回の割合で行います。

情報・出版

情報コーナーとガイダンスホールでは、岡本太郎作品や芸術についての情報や映像を来館者に無料で提供します。また美術館ホームページやミュージアムニュースなどさまざまなメディアを通して外部への情報を発信し、美術館と人とのコミュニケーション作りをめざしています。

普 及

子どもから成人まで、さまざまな年齢層に応じ、ワークショップ、講演会、講座などのイベントや、貸出教材、ビデオ等での岡本太郎や美術館の紹介など、だれもが気軽に美術に親しめるための普及活動を行います。また他の美術館、教育施設と連携したイベント等の事業にも活動を広げていきます。

3. 美術館沿革

平成3年 4月 川崎市市民ミュージアムにて「川崎生まれの鬼才・岡本太郎」展開催

11月 岡本太郎氏の所有する主要作品352点が寄贈される(第一次)

平成5年 1月 岡本太郎氏に川崎市名誉市民を贈る

岡本太郎氏の所有する主要作品1,427点が追加寄贈される(第二次)

4月 岡本太郎記念館準備室 発足

川崎市市民ミュージアムにて「TARO 万華鏡」展開催

- 平成6年 4月 岡本太郎記念館準備室から岡本太郎美術館準備室に名称変更
- 平成7年 11月 広島市現代美術館にて「岡本太郎」展開催
- 平成8年 1月 岡本太郎逝去（享年84歳）
- 6月 アートガーデンで川崎「岡本太郎追悼」展開催
- 11月 生田緑地にて美術館建設工事着工
- 平成9年 9月 新百合トゥエンティワンで「'97 TARO」展開催
- 平成10年 5月 岡本敏子氏により、青山のアトリエに岡本太郎記念館が開館する
- 平成11年 2月 美術館建設工事、展示工事竣工（工期2年3ヶ月）
- 4月 岡本太郎美術館準備室から川崎市岡本太郎美術館に名称変更
村田慶之輔氏が館長に就任、シンボルタワー「母の塔」工事竣工
- 10月 川崎市岡本太郎美術館開館、開館記念展「多面体・岡本太郎—咲笑するダイナミズム—」開催
- 平成15年 4月 岡本敏子氏の所有する岡本太郎関連資料1,827点が寄贈される（第三次）
- 平成16年 3月 多摩区役所1Fロビーに《樹霊》設置
- 4月 「肉体のシュルレアリスム 舞踏家土方巽抄」展（2003年）が、第35回舞踏批評家協会賞を受賞
- 10月 開館5周年記念展「テレビ発掘 まる裸の太郎」開催
- 平成17年 3月 北代省三氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4月 岡本太郎の養女・岡本敏子逝去
- 10月 多摩区役所1Fロビーに《樹霊》にかわり《月の顔》設置
- 平成18年 2月 入館者50万人達成
- 平成21年 4月 開館10周年記念展「岡本太郎の絵画」開催
- 平成23年 2月 岡本太郎生誕100年 誕生日記念イベント開催
- 3月 東京国立近代美術館で「生誕100年 岡本太郎」展開催
- 4月 「生誕100年人間・岡本太郎」展開催
- 10月 岡本太郎生誕100年記念イベント ダンス公演「TAROと踊ろう！」開催
- 平成24年 3月 入館者100万人達成
- 4月 北條秀衛氏が館長に就任、村田慶之輔氏が名誉館長に就任
- 平成25年 3月 池田龍雄氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4月 生田緑地一部指定管理者制度導入
- 平成26年 3月 生田緑地西口園路開通
- 7月 川崎市制90周年記念展「岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ」開催
- 10月 開館15周年記念展「TARO賞の作家II」開催
- 11月 開館15周年記念イベント「TARO祭り」開催
- 平成27年 2月 《母の塔》補修工事完了
- 4月 川崎市岡本太郎美術館資料収集委員会、資料評価委員会廃止
- 6月 川崎市岡本太郎美術館協議会廃止
川崎市文化芸術振興会議施設部会設置
- 平成30年 10月 入館者150万人達成
- 平成31年 7月 開館20周年記念展「これまでの企画展みんな見せます！」開催
- 令和3年 4月 土方明司氏が館長に就任

4. 施設・設備概要

常設展示室 (1,026 m²)

岡本太郎の多岐にわたる分野を越えた幅広い芸術作品や著作、パフォーマンス、フィールドワーク等の活動、また思想的な背景となる民族学やパリ時代での交友など多面体の岡本太郎の軌跡を伝えるためには、その表現世界の広がりに応える展示環境が不可欠でした。

常設展示室は、芸術活動の分野や内容、作品の特徴や形状、時代毎の傾向などによって、展示室全体が複雑に分節され、それぞれに独自の空間と役割を与えられた部屋が柔らかく結ばれた迷路のように作られています。そこには順路はなく来館者は迷宮の様な空間を歩きながら岡本太郎と出会い、その断片を発見する旅をはじめます。

各ゾーンには作品を映像・グラフィックと共に見せる絵画ゾーン、作品そのものによって空間を構成し、照明効果、映像の演出によって様々な表情を見せる彫刻のゾーン、また多面的な活動をわかりやすく紹介する展示空間など、それぞれが岡本太郎を訪ねる旅の一場面となっています。

これら従来の作品を単に鑑賞する美術館から、子供から大人まで、理屈抜きに岡本太郎を肌で感じ体験できる展示空間として、楽しんでいただけます。



企画展示室 (828 m²)

岡本太郎に関わる展示だけでなく、新人作家の紹介や、現代美術、子供の創造性を高める参加型の展覧会など様々な展示に対応できる空間です。中央に外光を取り入れるための光庭が配置され、828 m²の空間は可動壁によって、いくつものパターンの展示空間を作ることができます。



母の塔

岡本太郎美術館のシンボルタワー「母の塔」は、「大地に深く根ざした巨木のたくましさ」と「ゆたかでふくよかな母のやさしさ」「天空に向かって燃えさかる永遠の生命」をテーマとして製作されました。製作にあたっては原型を3次元解析して得た座標数値を基に、正確に再現しています。

外装のGRCパネルは高い強度と精度管理のしやすさから、またクラッシュタイルは3次元曲線に追従し、かつ目地処理が容易であることから選ばれました。外装の「タローホワイト」と名付けた特殊な色のタイルは、光を浴びるとゆっくりと表情を変え、微妙な歪みや揺らぎを見ることができます。

施工に際しては、空中における3次元座標の管理、複雑な形状とデリケートな作業、合理的な仮設計画等から、全ての作業を作業床で完了させるジャッキアップ工法が取り入れられ、先端部分から順に完成させては押し上げる、まるで大地から生えてくるような、制作のプロセスそのものもダイナミックで芸術的な施工方法で完成しました。



- 名称・・・・・・母の塔
- 原作者・・・・・・岡本太郎
- 原型制作年・・・・1971年
- 設計・・・・・・川崎市教育委員会、現代芸術研究所
- 施工・・・・・・戸田・北島共同企業体
- 建物用途・・・・工作物（屋外彫刻）
- 構造・・・・・・鉄骨造（塔体パイプトラス+鋳鋼ジョイント）
- 全高・・・・・・30m
- 工法・・・・・・ジャッキアップ工法
- 支持杭・・・・現場造成杭（機械掘深礎工漬）径2m、7本
- 外装・・・・・・外殻 GRCクラッシュパネル
仕上 クラッシュタイル（スコルト加工）
- 人形彫刻・・・・FRPブロンズ仕上 16体 H=3.0~5.6m
内部 常温亜鉛メッキ鉄骨補強
- その他設備・・・・照明設備、避雷



V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則

1. 条例

(目的及び設置)

第1条 川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の利用に供するとともに、市民の美術に関する創造的活動を促進し、もって市民の芸術及び文化の発展に寄与するため、川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 美術館の位置は、川崎市多摩区枳形7丁目1番5号とする。

(事業)

第3条 美術館は、第1条の目的を達成するため、おおむね次の事業を行う。

- (1) 美術作品及び資料（以下「美術作品等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 美術作品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術作品等に関する情報の提供を行うこと。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、情報の交換、美術作品等の相互貸借等を行うこと。

(職員)

第4条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

(指定管理者)

第5条 市長は、法人その他の団体であって次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせる。

- (1) 美術館の管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
- (2) 事業計画書の内容が、美術館の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書の内容に沿った美術館の管理を安定して行う能力を有すること。

2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。

3 市長は、第1項の指定をしたときは、その旨を告示する。

(指定管理者が行う管理の基準)

第6条 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、美術館の管理を行わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第7条 指定管理者は、次に掲げる業務を行わなければならない。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(開館時間及び休館日)

第8条 美術館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

開館時間	午前9時30分から午後5時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日（前2号に掲げる日を除く。）

(観覧料)

第9条 常設展又は企画展の展示会場へ入場しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第10条 美術作品等について熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

3 特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

4 市長は、第1項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

(受講料等)

第11条 市長は、第3条第4号に規定する事業を行うに当たっては、受講料又は入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、特に必要があると認めるときは、第9条に規定する観覧料及び第10条第2項に規定する特別利用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除すること

ができる。

(観覧料等の還付)

第13条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第14条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第15条 美術作品等又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(平成11年6月30日規則第69号で平成11年10月30日から施行)

附 則(平成12年12月21日条例第79号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成17年9月30日条例第88号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成18年12月14日条例第77号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月20日条例第18号抄)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年10月9日条例第47号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

附 則(平成21年12月24日条例第47号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

- (1) 川崎市スポーツ振興審議会条例
- (2) 川崎市とどろきアリーナ条例
- (3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則(平成24年3月19日条例第4号)

この条例は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第4条の次に4条を加える改正規定(第5条(指定管理者に美術館の管理を行わせることに係る部分を除く。))に係る部分に限る。)及び第12条の改正規定(同条を第16条とする部分を除く。)は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年3月23日条例第2号抄)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

- (1) 第16条、第17条及び第20条の規定 平成27年5月1日
- (2) 第3条の規定 平成27年6月1日
- (3) 第19条の規定 平成27年7月1日
- (4) 第7条の規定 平成28年4月1日
- (5) 第12条、第14条及び第15条の規定 平成28年5月1日

(6) 第2条、第4条、第11条、第13条及び第18条の規定 平成28年6月1日

(7) 第6条の規定 平成28年9月1日

(8) 第5条の規定 平成28年10月1日

(9) 第8条の規定 平成28年11月1日

附 則(平成28年3月24日条例第30号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1(第9条関係)

1 普通観覧料

(1) 常設展の観覧料

区分	個人	団体
高校生・大学生及び65歳以上の者	300円	1人につき 240円
一般	500円	1人につき 400円

備考

- 1 団体とは、20人以上をいう。
- 2 学齢に達しない者及び学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。
- 3 高校生・大学生とは、法第1条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校、法第134条に規定する各種学校そ

の他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。

4 一般とは、前2項に規定する者及び65歳以上の者以外の者をいう。

5 企画展の観覧料を納付した者は、無料とする。

(2) 企画展の観覧料

1人につき2,000円の範囲内で市長がその都度定める。

2 共通利用券

種別	金額
100円券 12枚つづり	1,000円
100円券 25枚つづり	2,000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体(20人以上をいう。)の入場等については、この限りでない。

(1) 美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

(2) 川崎市市民ミュージアム条例(昭和62年川崎市条例第45号)に規定する川崎市市民ミュージアムにおいて川崎市市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場

(3) 川崎市青少年科学館条例(昭和46年川崎市条例第24号)に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧

(4) 川崎市立日本民家園条例(昭和42年川崎市条例第19号)に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第2(第10条関係)

区分	単位	特別利用料
熟覧	1点 1日	200円
模写		1,000円
模造		1,000円
撮影	1点	300円
原板使用	1枚	2,000円

2. 条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、川崎市岡本太郎美術館条例(平成11年川崎市条例第25号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(公告)

第2条 市長は、条例第5条第1項の規定により川崎市岡本太郎美術館(以下「美術館」という。)の管理を行わせるため、法人その他の団体(以下「法人等」という。)を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

- (1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- (2) 条例第5条第1項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間(以下「指定予定期間」という。)
- (4) 条例第5条第2項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出(以下「事業計画書等の提出」という。)の方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項(事業計画書等の提出)

第3条 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第5条第2項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定予定期間に属する各年度の美術館の管理に係る事業計画書及び経費見積書
- (2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書(法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類)
- (3) 事業計画書等の提出をする日(以下「提出日」という。)の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- (4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- (5) 役員の名簿及び履歴書
- (6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (7) 現に行っている業務の概要を記載した書類
- (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類(指定管理予定者)

第4条 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が2以上あるときは、条例第5条第1項各号に掲げる要件(以下「指定要件」という。)を満たし、かつ、次に掲げる業務を行う上で最も適切と認めるものを指定管理者の予定者(以下「指定管理予定者」という。)とする。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
 - (2) 美術館の広報活動に関すること。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務
- 2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が1である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。
- 3 市長は、前条第1項に規定する市長が定める期間内

に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前2項の指定管理予定者がいないときは、再度、第2条の規定による公告を行う。

(通知)

第5条 市長は、条例第5条第1項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書（第1号様式）により通知する。

(協定)

第6条 指定管理者は、市長と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 管理に要する費用に関する事項
- (3) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 管理の業務の報告に関する事項
- (5) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (6) 川崎市契約条例（昭和39年川崎市条例第14号）に規定する作業報酬に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項
(事務の委任)

第7条 次に掲げる事務は、川崎市岡本太郎美術館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第10条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関すること。
- (2) 条例第12条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関すること。
- (3) 条例第13条の規定による観覧料等の還付に関すること。

(観覧券等の交付)

第8条 館長は、条例第9条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

第9条 市長は、条例別表第1の3の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

第10条 条例第10条第1項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書（第2号様式）

をあらかじめ館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書（第3号様式）を交付するものとする。

3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第3条第1号に規定する美術作品等（以下「美術作品等」という。）の模写、模造、撮影若しくは原板使用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、美術館の所蔵に係るものであることを、適切な方法で表示すること。
- (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 美術作品等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他館長が必要と認める事項
(特別利用の不許可)

第11条 館長は、次に掲げる美術作品等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって美術作品等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
- (2) 寄託された美術作品等で寄託者の同意を得ていないもの
- (3) 著作権が存する美術作品等で著作権者の同意を得ていないもの
- (4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの

2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(観覧料等の減免)

第12条 条例第12条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 観覧料

ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 川崎市の発行する福寿手帳の交付を受けている者が常設展の観覧を行う場合 全額

エ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15

条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別
援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第
2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対
する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2
条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知
的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知
的障害者更生相談所において知的障害と判定された者
に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その
他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精
神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）
第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳
等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受け
ている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う
場合 全額

オ その他館長が特に必要があると認める場合 その都
度館長が定める額

(2) 特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用
途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、図書館、学校、研究所等がその事業
の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合
全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その
都度館長が定める額

2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受け
ようとする場合にあっては観覧料減免申請書（第4
号様式）を、前項第2号の規定による特別利用料の減
額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用
料減免申請書（第5号様式）を、あらかじめ館長に提
出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合
にあっては川崎市の発行する福寿手帳の、同号エの場
合にあっては身体障害者手帳等の提示をもって、当該
申請書の提出に代えることができる。

（観覧料等の還付）

第13条 条例第13条ただし書の規定により観覧料等を
還付することができる場合及びその額は、次のとおり
とする。

(1) 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができ
ない場合 全額

(2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、
又は特別利用の許可を取り消す場合 全額

(3) 前2号に定めるもののほか、館長が特別の理由があ
ると認める場合 その都度館長が定める額

（遵守事項）

第14条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守

しなければならない。

(1) 建物、附属設備又は美術作品等を汚損し、若しくは
損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をし
ないこと。

(3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等
を行わないこと。

(4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。

(5) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項
（委任）

第15条 この規則の施行について必要な事項は、市民文
化局長が定める。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 川崎市岡本太郎美術館協議会規則（平成11年川崎市
教育委員会規則第7号）の規定により委嘱され、又は
任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する
委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規
定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

附 則（平成25年3月29日規則第26号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存
するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正し
た上、引き続きこれを使用することができる。

附 則（平成27年5月27日規則第49号）

この規則は、平成27年6月1日から施行する。

規 則（平成28年3月31日規則第25号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

第1号様式

第2号様式

第3号様式

第4号様式

第5号様式

令和3年度

川崎市岡本太郎美術館年報

2022年10月発行

編集・発行／川崎市岡本太郎美術館

川崎市多摩区栞形7-1-5 生田緑地内

TEL 044-900-9898

印刷／情報印刷株式会社

TARO OKAMOTO
MUSEUM OF ART
KAWASAKI